

## 女子学生の職業興味と職業選択\*

若林 満 後藤 宗理<sup>1)</sup> 宗方 比佐子

### I. 研究の目的

本稿は、これまでの筆者らの女子短大生の職業選択過程に関する研究を一步進めたものである（若林・鹿内・後藤, 1981; 若林・後藤・鹿内, 1983, 1984, 1985, 1986; 鹿内・後藤・若林, 1982, 1986, 1987; 後藤・若林, 1988; 若林・後藤, 1988）。今までの研究では、女子短大生の職業意識はどのように形成されるか、またそれはどう変化するのか、さらには職業意識や職業選択過程と自己概念との関係はどのようなものであるのかが検討された。また、家庭環境、性役割、しつけの経験、中学・高校における学校生活経験などが職業選択過程に対して与える影響についても検討された（若林・後藤・鹿内, 1986）。

そのうち、若林・後藤・鹿内（1986）では、職業意識の測度の1つとして、女子大生を対象とした職業興味尺度が開発された。この尺度は、Holland（1973）のVPI（Vocational Preference Inventory）を参考に、現代日本の女子学生の職業興味に対応するよう、新たに開発されたものである。その理由は、元の尺度がアメリカで開発されたものであること、職業興味の領域が男子中心であることなどの問題点があり、そのまま利用することが不可能であったためである（森下, 1983）。この若林ら（1986）の研究においては、短大生を対象に97の職業について、興味の程度がたずねられた。被調査者となった女性は、いずれも女子短大生であり、専修学校系、栄養・家政系、商業系、保育系、看護系の5つの専攻から選ばれた。因子分析の結果、8つの因子が抽出され、事務的専門職、服飾・商業美術職、販売・現業職、

医療・社会福祉職、マスコミ職、窓口サービス職、教育職、語学専門職と命名された。

さらに女子短大生の職業興味と進路選択過程の構造を明らかにするために、職業社会化過程を外的に規定する要因、青年中期までの性役割社会化経験に関わる要因、青年後期の職業意識と自己概念に関わる諸尺度についての質問紙調査も行なわれた。その結果、①保育系および商業系の学生が両親との同一視や生き方を参考にする度合が強く、また親から女性役割しつけを受けてきた程度が強いと認知している。②職業興味を規定する要因として、教育職を除くどの職業興味においても中学・高校における学校生活経験が重要な関わりを持っていること、母親から女らしさを意識して育てられたという認知は、すべての職業興味に対して負の影響を与える方向で作用すること、職務挑戦志向性は職業興味に対してどちらかといえば負の影響を与えているが、労働条件志向性は正の効果を持っていること、などが明らかにされた。

その後の研究において、若林・後藤（1988）は、従来の専修学校系、栄養・家政系、保育系、商業系、看護系という5つの系からえられた女子学生のデータに加え、新たに、人文系の短大生や4年制大学生のデータを追加し、同様な分析を行った。再び行なわれた因子分析の結果は、前回の結果とほとんど違いがなく、女子学生全体がもっている職業興味の構造が、8つの因子、すなわち、事務的専門職、服飾・商業美術職、医療・専門職、販売・現業職、マスコミ職、教育職、窓口サービス職、語学専門職から記述できることを確認した。これらの職業興味は、それぞれの専攻分野と対応関係にあり、専門による違いが明確に示されていた。しかし、人文系の4年制大学の女子学生は、上記8つのどの職業群に対しても際立った興味を示しておらず、職業意識の希薄さを感じられた。

以上の研究においては、職業興味は、女性の職業として考えられる代表的な97の職業名に対する反応（興味の程度の評定）として捉えられた。したがって、被調査者が職業名に対して興味の程度を回答したとしても、その

\* 本研究のデータ処理は、名古屋大学大型計算機センターの FACOM M780/20によって行なわれた。

なお、本論文は若林（I. 研究の目的とV. 結果のまとめと考察）、宗方（II. 方法とIII. 結果I），後藤（IV. 結果II）によって分担執筆された。

1) 名古屋市立保育短期大学

## 女子学生の職業興味と職業選択

職業のどの側面に対して興味を持っているのかということが明らかになったわけではない。これまでの段階では、因子としてまとめられた職業のグループには共通の特性があることが記述されたにすぎない。そこで今後の課題としては、それぞれの職業にみられる特性を明らかにしながら、各職業内容に対する興味を明らかにする必要がある。たとえば、計算をすることとか、人の世話をすること、コンピューターのプログラムを作成すること、といった具体的職務内容そのものにどの程度興味を持っているかが測定されなければならない。その上で、具体的職務内容とどの職業分野とが対応関係にあるのかといった、職業名と職務内容との相関関係を明らかにしていく必要がある。

図1は以上の観点から、本研究の枠組みを示したものである。特に本論文においては、①職業興味を職業名と職務内容の2側面から測定し単一の職業興味尺度を構成するとともに、②このようにして測定された職業興味が女子学生の大学別・専攻別の違いによりどのように異なるかを明らかにし、③さらに大学別・専門分野ごとの職業興味が、女子大生各人の希望就職分野とどのような対応関係にあるかを解明することが、研究の中心的関心となる。具体的には、大学での専門と女子学生の職業興味および希望就職先とは、どの程度一貫しているのであろうか。またバリエーションとして、どのようなタイプが見られるのかを検討していくことになる。

上記の意味での一貫性に加え、職業興味そのもののパターン問題とされる必要がある。第1のパターンは、色々な職業分野の中で特定の1領域に対する興味が、他の領域に比べ際立って高く、興味分野が限定されている「単一興味型」である。このパターンは専攻分野の専門性が高い看護系や教育系の女子学生の間で顕著であると思われるが、マスコミ志望やコンピューター関係など、専門的な分野への就職を望んでいる学生においても出現する可能性が高い。上記のバリエーションとして、2つの職

業領域にともに高い興味を示す「二興味型」が考えられる。その理由として、マスコミ職とファッション関係、事務職と窓口サービス職など、各職業領域は相互に類似性を有しており、一つに高い興味を示す者は他の関連した職種にも高い興味を示すことが考えられるからである。

これに対し、3つ以上、ないしすべての職業に対し無差別に高い興味を示す「多興味型」の学生の存在が考えられる。この反対は、すべての職業に対し低い興味しか示さない「無興味型」の学生である。しかし上記の2つは、職業興味が特定の領域へ分化していない「未分化型」であるという点で共通している。本研究の最終的目的は、上記のような職業興味のパターン分類を行ない、それを学生の専攻分野や希望就職先と関連づけて考察することにある。

## II. 方 法

### 1. 被調査者と調査の実施状況

女子青年の職業興味は大学や短大での専攻と深く関わっており、専攻を同じくする学生は類似した職業興味を示す傾向のあることが既に明らかになっている（若林・後藤、1988）。そこで、本研究では職業興味尺度の作成にあたり、できるだけ多様な専攻分野の学生を対象として調査を実施し、職業興味の主要領域をカバーするよう心がけた。

調査対象は、愛知県下の4年制大学7校、短期大学5校、専門学校2校に在籍する女子学生であり、有効回答数は1753であった。学校・専攻別にみた被調査者の内訳は表1に示すとおりである。

調査は、質問紙法により昭和63年11月から翌年1月にかけて実施された。

### 2. 質問紙の内容

#### 1) 職業名による職業興味測度

若林ら（1986, 1988）の結果等を参考にして、事務的

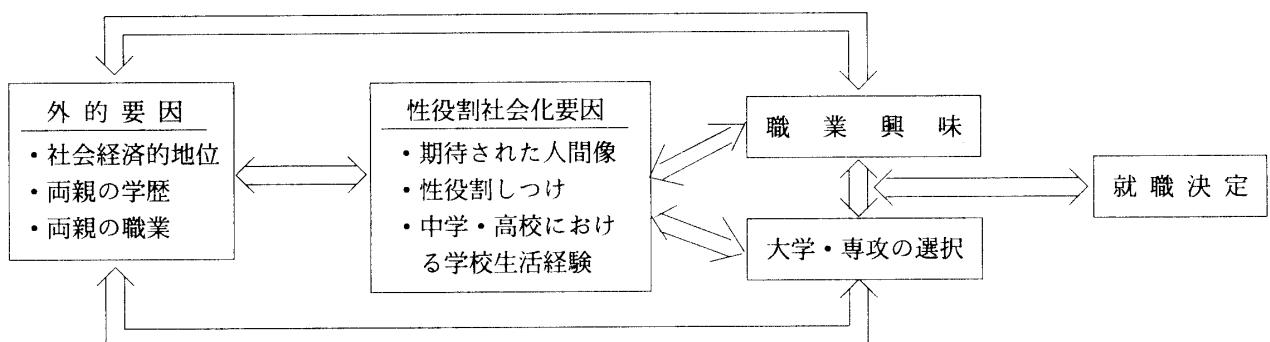


図1 職業興味の形成と進路選択の過程（若林・後藤、1988より）

表1 被調査者の内訳

大学種別		専攻	人数
大 学	A校(国立共学)	教育学	54名
	B校(国立共学)	教育学	79
	C校(私立共学)	国文学	40
	"	経営学	40
	D校(私立共学)	社会学	25
	E校(私立女子)	人間関係学	203
	"	家政学	109
	F校(私立女子)	英文学	99
	"	図書館情報学	98
短期大学	G校(私立女子)	児童教育学	53
	H校(公立女子)	保育学	94
	I校(私立女子)	人間関係学	30
	J校(私立女子)	秘書学	298
	K校(私立女子)	家政学	155
	L校(私立女子)	教養	101
	"	英文学	124
専門学校	"	不明	23
	M校(国立)	看護学	91
	N校(私立)	看護学	37
	合計		1,753名

専門職、服飾・商業美術職、医療・専門職、販売・現業職、マスコミ職、教育職、窓口・サービス職、語学専門職の8領域について、それぞれ女性向きの職業を10項目ずつ選択した。これら80項目の職業名に対して、「非常に興味がある」「少し興味がある」「あまり興味がない」「まったく興味がない」の4点尺度により、興味の程度を測定した。

## 2) 職務内容による職業興味測度

職業名の場合と同様、事務的専門職、服飾・商業美術職、医療・専門職、販売・現業職、マスコミ職、教育職、窓口・サービス職、語学専門職の8領域を設定し、女性向きの職務内容をそれぞれ10項目ずつ考案した。これら80項目の職務内容について4段階評定を求め、興味の程度を測定した。

## 3) 関連変数

職業興味と関連する変数として職業志向をとりあげた。職業志向とは職業生活の上で何を得たいと望むかを明らかにするものである。若林ら(1983)は30項目からなる職業志向測度を因子分析し、「職務挑戦」「人間関係」

「労働条件」と名づけられ得る3つの因子を抽出した。職務挑戦とは、仕事のやりがいや重要性を大切にし、困難な職務に挑戦して自己の能力を発揮したり、それを通じて自分が成長することを求める傾向を意味する。人間関係は、職業生活において職場での仲間や上司との良好な人間関係を求める傾向を意味する。労働条件は、高い給与、休日の多さ、通勤の便利さといった仕事の上での外在的報酬(条件)を求める傾向を意味する。ここでは、若林ら(1983)の結果に準拠し、30項目の中から因子ごとに負荷量の高い5項目を選択し、合計15項目を職業志向尺度の項目とした。回答者はそれぞれの項目に対し、自分がつきたいと望んでいる職業には、それがどの程度そなわっていて欲しいと思うかを、「非常にたくさんあってほしい」「かなりたくさんあってほしい」「普通以上にあってほしい」「普通にあってほしい」「普通以下でよい」の5段階で回答するように求められた。

## 4) その他の質問項目

本研究では以上の質問項目の他に、①大学または短期大学での学年と専攻、②父母の学歴と職業、③将来の希望職業名、④希望職業決定の時期、のそれぞれに関する質問項目を設け情報を得た。なお、希望職業名は自由記述とし、その他はいずれも多肢選択によって回答を求めた。

## III. 結果I — 職業興味尺度の構成 —

### 1. 分析的目的

女性むけ職業興味尺度の作成にあたり、尺度構成を行なうことが本分析の目的である。われわれはこれまでに、女性が比較的就業しやすい職業名を項目とした女性むけ職業興味尺度の作成を試みている。本研究ではさらに尺度を充実させることを目的とし、職業名に加えて職務内容への興味をも考慮した尺度の作成を試みる。そこで、データ分析を次のように進める。①職業名の項目に対して因子分析を施し、その結果にしたがって項目を選択し下位尺度を構成する。これら職業名を項目とする職業興味尺度(以下職業名尺度とする)の下位尺度間の関連性および下位尺度の信頼性を検討する。②職務内容の項目に対して因子分析を施し、その結果にしたがって項目を選択し下位尺度を構成する。これら職務内容を項目とする職業興味尺度(以下職務内容尺度とする)の下位尺度間の関連性および下位尺度の信頼性を検討する。③職業名尺度と職務内容尺度を合成した最終的な職業興味尺度について、下位尺度間の関連性および下位尺度の信頼性を検討する。加えて、関連変数である職業志向との関係を明らかにし、本研究で作られた職業興味尺度の性質について考察を加える。

## 女子学生の職業興味と職業選択

### 2. 結果と考察

#### 1) 職業名尺度の構成

表2は、80項目の職業名からなる職業興味測度に対して、主因子解、バリマックス回転による因子分析をほどこし、8因子を抽出した結果である。因子数の決定にあたり、固有値の減衰状況を考慮して6因子から12因子ま

での因子分析結果を検討した。その上で解釈がより妥当であると思われた8因子の場合を採用した。

第1因子は、ニュースキャスター、アナウンサー、新聞記者、プロデューサー、編集者、シナリオライター、作家、ディスクジョッキー、評論家、俳優などの職業に因子負荷量が高いことから「マスコミ職」と名づけられ

**表2 職業名の因子分析結果 (N=1753)**

項目	第I因子	第II因子	第III因子	第IV因子	第V因子	第VI因子	第VII因子	第VIII因子	共通性 ( $h^2$ )
59 ニュースキャスター	.747	.043	.234	.076	.233	.016	.133	-.064	.698
*40 アナウンサー	.687	.049	.235	.037	.295	.033	.110	-.143	.653
*6 新聞記者	.682	.074	.203	.086	-.061	-.036	.011	.121	.541
*56 プロデューサー	.678	-.023	.163	.255	.144	.029	.092	.088	.592
*14 編集者	.672	.011	.180	.200	-.120	.025	-.071	.129	.562
67 シナリオライター	.640	.118	.080	.353	-.004	.015	-.030	.228	.609
*21 作家	.625	.173	.055	.230	-.175	-.039	-.059	.186	.548
*48 ディスクジョッキー	.587	.062	.141	.210	.345	-.046	.060	-.007	.539
29 評論家	.587	.046	.085	.160	-.062	.080	.071	.169	.425
77 俳優	.481	.121	.119	.287	.352	-.089	.190	-.028	.513
24 大学教員	.450	.316	.166	-.052	-.093	.160	.171	.064	.401
61 日本語教師	.405	.369	.367	-.025	-.068	.101	-.069	.091	.465
66 養護学校の教員	.091	.758	-.009	.045	.003	-.018	.218	.108	.646
*28 児童福祉施設職員	.038	.757	-.007	-.004	-.027	.085	.108	.069	.600
*15 幼稚園教員	-.069	.749	-.014	.059	.155	.010	.091	-.097	.613
*7 保母	-.080	.746	-.014	.041	.156	-.022	.088	-.097	.608
*41 小学校教員	.250	.693	.020	-.083	.063	.124	.081	-.047	.580
*20 中学・高校教員	.288	.589	.085	-.115	-.015	.147	.044	-.053	.479
75 保健婦	-.082	.536	-.012	.137	.118	.004	.495	.121	.588
36 ホームヘルパー	-.093	.476	-.003	.104	.204	.014	.146	.254	.375
78 学習塾の教師	.183	.467	.216	-.081	.114	.198	.045	.040	.362
*49 カウンセラー	.361	.458	.051	.081	.007	.073	.123	.095	.380
57 ケースワーカー	.228	.457	.043	.135	.023	.002	.243	.221	.391
31 通訳ガイド	.200	.029	.839	.087	-.035	-.024	.001	.047	.758
*4 同時通訳	.171	.062	.771	.114	-.107	-.071	.094	-.047	.669
54 海外旅行添乗員	.162	.071	.663	.124	.227	-.013	-.015	.033	.541
*12 翻訳家	.284	.103	.658	.109	-.241	-.040	-.014	.066	.601
*38 英文タイピスト	-.017	.045	.616	.131	.043	.284	.060	-.003	.486
*27 ツアーコンダクター	.113	.042	.613	.143	.248	.010	-.056	.052	.479
*23 國際線スチュワーデス	.198	-.023	.594	.064	.222	-.039	.242	-.112	.520
*46 國際電話交換手	.051	.028	.592	.021	.251	.271	.051	.048	.497
69 銀行の海外業務担当者	.201	-.088	.548	.000	.073	.300	.072	.170	.480
79 観光ガイド	.111	.174	.525	.089	.368	.035	-.082	.152	.495
76 外資系企業の秘書	.168	-.165	.502	.037	.180	.404	.120	-.111	.532
58 グランドホステス	.150	-.121	.392	-.035	.355	-.047	.039	.069	.328

原 著

* 18 服飾デザイナー	.144	.006	.099	.817	.126	-.025	.085	.030	.724
* 2 インテリアデザイナー	.120	-.081	.099	.799	.092	.011	.056	-.009	.683
* 74 インテリアコーディネーター	.163	-.041	.138	.787	.116	.061	.058	.054	.692
* 33 スタイリスト	.198	-.030	.160	.763	.229	-.012	.141	-.028	.722
* 52 商業デザイナー	.201	-.018	.119	.657	.113	.214	.084	.201	.594
* 71 イラストレーター	.235	.150	.050	.629	-.027	.028	.009	.216	.525
63 ハウスマヌカン	.061	.016	.005	.547	.413	.020	.116	.026	.489
25 画 家	.290	.126	.024	.539	-.152	-.034	.073	.211	.467
44 カメラマン	.437	.054	.140	.443	.057	-.008	.106	.249	.488
10 美 容 師	-.038	.199	.004	.443	.273	-.111	.242	.131	.401
* 42 ショールームガール	.144	.001	.085	.170	.646	.086	.072	.007	.488
* 8 受付・案内係	-.074	.025	.086	-.001	.634	.337	-.055	-.078	.540
* 35 エレベーターガール	-.008	.071	.028	.044	.632	.056	.072	.187	.451
* 16 ホテルのフロント係	-.042	-.011	.224	.031	.616	.132	-.064	.134	.473
* 65 催事コンパニオン	.157	.064	.150	.126	.610	.044	.083	-.060	.453
55 ウエートレス	-.072	.236	-.017	.161	.569	-.019	.017	.238	.470
* 5 デパートの売場係	-.102	.186	-.041	.098	.525	.038	-.097	.216	.390
50 電話交換手	.001	.131	.233	.029	.416	.377	.063	.129	.409
47 営業部員	.125	.055	.084	.099	.375	.297	-.045	.342	.385
80 スポーツのインストラクター	.126	.159	.189	.262	.333	-.056	.163	.081	.294
* 26 公務員事務職	-.079	.265	-.043	-.064	.033	.679	-.068	.028	.551
* 1 民間企業事務員	-.167	.012	-.031	-.049	.199	.621	-.160	.016	.484
64 会計士	.129	-.035	.064	.048	.027	.611	.336	.203	.553
* 43 銀行員	-.072	.060	.091	-.015	.255	.580	.067	.061	.428
34 税理士	.224	-.114	.120	.039	-.040	.531	.385	.181	.545
* 72 医療保険事務	-.101	.197	.011	.055	.127	.517	.367	.101	.482
* 17 図書館司書	.169	.245	.014	.021	-.103	.516	-.019	.093	.376
* 19 秘書	.044	-.086	.252	.101	.294	.478	.111	-.216	.458
9 司法書士	.319	-.022	.167	.028	-.085	.419	.327	.128	.439
51 プログラマー	.220	-.065	.218	.236	-.026	.351	.149	.284	.384
* 37 薬剤師	.035	.100	.081	.093	.003	.217	.707	.035	.576
* 3 医師	.152	.119	.105	.095	.005	-.083	.670	.042	.516
62 理学療法士	.156	.267	.018	.062	-.071	.059	.617	.242	.549
* 32 臨床検査技師	.131	.297	.020	.048	-.101	.024	.593	.208	.516
* 11 看護婦	-.076	.440	.001	.081	.134	-.155	.573	.071	.583
* 53 歯科技工士	-.011	.089	.011	.134	.099	.240	.569	.196	.456
* 45 栄養士	-.088	.263	-.024	.184	.097	.227	.414	.114	.359
70 婦人警察官	.198	.284	.081	.095	.235	.066	.309	.028	.292
* 30 電気修理技師	.118	.073	-.029	.075	.060	.025	.219	.692	.558
* 68 生産工程技能者	.129	.070	-.003	.101	.098	.119	.206	.678	.560
* 22 自動車整備士	.052	.058	.019	.065	.095	-.031	.182	.665	.498
73 システムエンジニア	.179	-.028	.055	.251	.056	.205	.199	.523	.459
* 60 自動車セールス	.121	.019	.045	.079	.335	.060	.029	.481	.373
* 39 商品仕入係(バイヤー)	.149	-.021	.128	.188	.224	.201	-.058	.393	.324
* 13 保険の外交員	.020	.086	.211	.007	.183	.206	.061	.305	.226
分 散 (%)	6.339 (7.9)	5.666 (7.1)	5.657 (7.1)	5.431 (6.9)	5.133 (6.4)	4.262 (5.3)	4.208 (5.3)	3.540 (4.4)	40.235 (50.4)

## 女子学生の職業興味と職業選択

た。第2因子は、養護学校の教員、児童福祉施設職員、幼稚園教員、保母、小学校教員、中学・高校教員、保健婦、ホームヘルパー、学習塾の教師などの職業に負荷量が高いことから「教育・福祉職」と名づけられた。第3因子は、通訳ガイド、同時通訳、海外旅行添乗員、翻訳家、英文タイピスト、ツアーコンダクター、国際線スチュワーデス、国際電話交換手、銀行の海外業務担当者などの職業に負荷量が高いことから「語学専門職」と名づけられた。第4因子は、服飾デザイナー、インテリアコーディネーター、スタイルリスト、商業デザイナー、イラストレーター、ハウスマヌカン、画家などの職業に負荷量が高いことから「服飾・商業美術職」と名づけられた。第5因子は、ショールームガール、受付・案内係、エレベーターガール、ホテルのフロント係、催事コンパニオン、ウェートレス、デパートの売り場係、電話交換手などの職業に負荷量が高いことから「窓口・サービス職」と命名された。第6因子は、公務員事務職、民間企業事務員、会計士、銀行員、税理士、医療保険事務、図書館司書、秘書などの職業に負荷量が高いことから「事務的専門職」と命名された。第7因子は、薬剤師、医師、理学療法士、臨床検査技師、看護婦、歯科技工士、栄養士、婦人警察官などの職業に負荷量が高いことから「医療職・専門職」と名づけられた。第8因子は、電気修理士、生産工程技能者、自動車整備士、システムエンジニア、自動車セールス、商品仕入れ係(バイヤー)、保険の外交員などの職業に負荷量が高いことから「販売・現業職」と名づけられた。

これらの各因子ごとに、負荷量が高い職業名の中から6項目を選び職業名の下位尺度とした。項目選択に際して次の3点を考慮した。①2つ以上の因子に同時に高い負荷量を示さず、少なくとも2番目に高い負荷量との間に.10以上の差をもつこと。②女性の職業としてより一

般的なものであり、今回の回答者の希望職業として選ばれる頻度の高いこと。③下位尺度内の項目にある程度のバラエティーをもたせるため、相互に類似性の低い職業名を選ぶこと。表2の項目番号に\*印のあるものが今回の分析で選ばれた職業名である。

表3は職業名尺度の下位尺度間相関と各下位尺度の信頼性係数を示したものである。相関係数は全体に正の高い値であり、事務的専門職とマスコミ職との組み合わせを除く全ての組み合わせにおいて有意な値をえている。

下位尺度間相関のうち、.30以上の値をもつ関連のみを取り上げて図示したのが図2である。この図から、8つの下位尺度をおよそ3つの結びつきとして理解することができる。1つはマスコミ職、語学専門職、服飾・商業美術職の3領域からなる。2つ目の結びつきは医療職・専門職と教育・福祉職である。3つ目の結びつきは、窓口・サービス職と事務的専門職の領域である。また、販売・現業職は3つの結びつきのそれぞれに対してある程度の関連を示している。

職業名尺度に関して、下位尺度の信頼性は表3に示したCronbachの $\alpha$ 係数からも明らかなように、販売・現業職と事務的専門職でやや低い他は.78以上と満足できる値であった。

### 2) 職務内容尺度の構成

表4は80項目の職務内容からなる職業興味測度に対して、主因子解、バリマックス回転による因子分析をほどこし、7因子を抽出した結果である。因子数の決定については職業名の場合と同様、6因子から12因子までの結果を検討し、解釈がより妥当であると思われたものを採用した。

第1因子は、老人や病人の身の回りの世話をする、施設の子どもたちの世話をする、乳幼児の世話をする、などの「教育・福祉職」に関わる項目と、病人を看護する、

表3 職業名尺度の下位尺度間相関係数 (N=1753)

	マスコミ職	教育・福祉職	語学専門職	服飾・商業美術職	窓口・サービス職	事務的専門職	医療職・専門職	販売・現業職
マスコミ職	(.84)							
教育・福祉職	.22 ***	(.83)						
語学専門職	.44 ***	.13 ***	(.80)					
服飾・商業美術職	.44 ***	.08 *	.31 ***	(.89)				
窓口・サービス職	.16 ***	.14 ***	.26 ***	.31 ***	(.79)			
事務的専門職	.04	.23 ***	.07 *	.19 ***	.34 ***	(.72)		
医療職・専門職	.17 ***	.39 ***	.25 ***	.19 ***	.22 ***	.15 ***	(.78)	
販売・現業職	.30 ***	.17 ***	.33 ***	.21 ***	.33 ***	.33 ***	.32 ***	(.70)

注 ( ) 内の数値は $\alpha$ 係数である

\*\*\* p<.001, \*\* p<.01, \* p<.05

\*印については、以下の表も同様である。

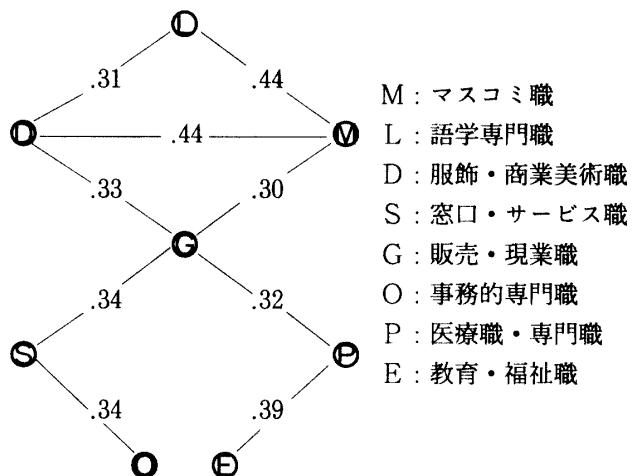


図2 職業名尺度における下位尺度の関連図

病人を治療したり手術をする、健康診断や保健指導をする、などの「医療職・専門職」に関わる項目とに負荷量が高いことから、これら2つの領域を複合する因子と考えられる。第2因子は、海外からの旅行客を観光案内す

る、国際線の機内で旅客を接待する、空港内で搭乗客に応対する、などの項目に負荷量が高いことから「語学専門職」と命名した。第3因子は、演劇や映画などの脚本を書く、雑誌や本を企画し編集する、文学作品を書く、などの項目での負荷量が高いことから「マスコミ職」と命名した。第4因子は、家具や照明器具のデザインや室内装飾、商品の色や形をデザインする、洋服をデザインしたり仕立てる、などの項目に負荷量が高いことから「服飾・商業美術職」と命名した。第5因子は、民間企業での事務処理や書類の作成、商店や会社の税金に関する書類を作成する、市役所・区役所などの事務処理、などの項目に負荷量が高いことから「事務的専門職」と命名した。第6因子は、受け付けやカウンターで案内をする、デパートのエレベーターで店内案内をする、ホテルで宿泊客の応対をする、などの項目に負荷量が高いことから「窓口・サービス職」と命名した。第7因子は、車を点検したり修理する、工場で機械を操作したり製品をつくる、自動車を販売する、などの項目に負荷量が高いことから「販売・現業職」と命名した。以上の7因子の

表4 職務内容の因子分析結果 (N=1753)

項目	第I因子	第II因子	第III因子	第IV因子	第V因子	第VI因子	第VII因子	共通性 ( $h^2$ )
39 老人や病人の身の回りの世話をする	.835	.033	.027	.031	-.019	.045	.117	.718
* 47 施設の子供達の世話をする	.825	-.016	.071	-.019	-.040	.117	-.022	.704
* 67 病人を看護する	.824	.058	-.030	.105	-.017	-.025	.141	.717
23 障害児の教育	.824	-.002	.137	-.019	-.035	.033	.035	.703
15 病人の社会復帰などを援助する	.819	.057	.078	.057	.007	.007	.070	.690
35 リハビリテーションの指導	.803	-.003	.104	.084	.040	-.004	.085	.673
* 78 乳幼児の世話をする	.761	.019	.011	-.003	-.001	.206	-.052	.626
* 71 小さい子どもの世話をしたり、教育を行なう	.761	.016	.100	-.009	.018	.230	-.116	.657
* 75 病人を治療したり、手術をする	.661	.093	.027	.134	.053	-.152	.234	.546
* 3 健康診断や保健指導をする	.650	.056	-.080	.178	.202	.009	.127	.522
* 31 悩みごとの相談に応じたり、指導する	.592	.037	.313	.032	.085	.145	-.034	.481
* 63 小学校で教える	.563	.035	.286	-.121	.096	.253	-.084	.496
* 43 血液や尿などの検査作業	.553	.004	-.007	.125	.217	-.174	.287	.483
* 27 給食の献立を作ったり、栄養指導をする	.496	.000	-.049	.212	.187	.123	.106	.356
55 中学・高校で専門の教科を教える	.466	.077	.369	-.151	.135	.158	-.071	.431
59 薬を調合する	.396	.095	-.021	.209	.355	-.159	.246	.423
11 非行や交通違反のとりしまり	.396	.069	.207	.039	.126	.207	.226	.317
6 勉などで学習の指導をする	.372	.167	.277	-.125	.196	.202	-.073	.344
44 海外からの旅行客を観光案内する	.075	.755	.194	.069	-.041	.217	.043	.671
* 52 国際線の機内で旅客を接待する	.014	.750	.109	.063	.019	.204	.050	.624
24 空港内で、搭乗客に応対する	.010	.720	.063	.034	.037	.279	.016	.604
* 20 海外旅行に同行し、旅行客の世話をする	.067	.712	.134	.071	-.084	.237	.098	.609
4 外国人管理職の秘書業務	-.056	.709	.112	.050	.251	-.015	-.068	.590
* 28 電話局で国際電話を取り次ぐ	.042	.683	-.000	.036	.264	.143	.012	.561
* 76 國際会議で演説などを即座に通訳する	.059	.653	.322	.057	.107	-.178	.006	.582
12 海外取り引きや金融の仕事	-.077	.590	.146	.068	.365	-.016	.105	.527
48 旅行社で旅行を企画し、実行する	.036	.588	.273	.178	.026	.191	.093	.501
* 60 英語の文書をタイプする	.056	.563	.064	.099	.335	-.037	-.011	.449

女子学生の職業興味と職業選択

68 外国的小説や文献などを日本語に訳す	.103	.521	.427	.066	.092	-.193	-.047	.518
32 交換台で外線電話を取り次ぐ	.083	.497	-.024	.073	.347	.305	.050	.477
8 観光地で名所、旧跡などを案内する	.142	.467	.184	.074	.006	.369	.121	.430
36 外国人に日本語を教える	.258	.466	.400	.011	.034	.023	-.069	.451
22 演劇や映画などの脚本を書く	.078	.067	.762	.266	.003	-.004	.103	.676
* 70 雑誌や本を企画し、編集する	.030	.164	.717	.263	.066	-.024	.011	.621
* 54 文学作品を書く	.130	-.030	.711	.197	.070	-.097	.042	.579
38 テレビのニュース番組を担当する	.043	.253	.704	.142	.015	.184	.036	.618
* 77 事件を取り材したり、報道記事を書く	.071	.283	.694	.103	.075	-.035	.104	.596
* 62 ラジオ、テレビ番組でニュースを報道する	.036	.242	.679	.128	-.024	.268	.017	.611
* 14 映画やテレビ番組の制作	.050	.177	.656	.305	-.017	.089	.092	.576
46 社会事像について評論を書く	.097	.084	.624	.090	.128	-.087	.171	.468
30 ラジオでレコード音楽を紹介し話をする	.058	.163	.556	.200	-.032	.307	.100	.486
5 映画や演劇、テレビドラマなどに出演する	.107	.172	.443	.259	-.100	.330	.058	.428
51 専門分野の研究をしたり、教える	.321	.082	.441	.086	.247	-.142	.077	.400
* 74 家具や照明器具のデザインや室内装飾	.060	.091	.149	.803	.065	.106	.022	.695
18 商品の色や形をデザインする	.014	.053	.199	.801	.056	-.013	.062	.693
* 58 洋服をデザインしたり、仕立てる	.102	.027	.183	.786	.004	.112	.034	.678
* 42 プティックなどで服をディスプレーする	.014	.102	.120	.763	-.005	.220	.026	.658
* 2 家具や調度品の組み合わせをアドバイス	-.007	.126	.075	.753	.098	.089	-.007	.607
* 10 広告のための絵や文字をデザインする	.064	.013	.310	.684	.017	-.036	.090	.579
66 ヘヤーカットやメイクアップの仕事	.165	.078	.077	.657	-.077	.258	.105	.557
34 店でCDブランド服を紹介する	.052	.095	.057	.593	.024	.366	.119	.517
50 芸術的な絵を描く	.106	-.009	.363	.591	.010	-.097	.062	.508
26 商業写真をとる	.018	.202	.213	.412	.202	.055	.220	.350
53 商品を仕入れたり、買い付ける	-.015	.086	.156	.358	.221	.234	.273	.340
* 73 民間企業での事務処理や書類の作成	.022	.041	-.042	.014	.750	.243	-.002	.627
41 商店や会社の税金に関する書類を作成する	.022	.136	.105	-.000	.731	.017	.175	.597
33 商店や会社の会計書類を作成する	.022	.136	.081	.039	.722	.082	.141	.576
* 49 市役所・区役所などの事務処理	.141	-.031	-.059	-.079	.705	.208	-.030	.572
* 9 健康保険などに関する書類の作成	.232	.065	-.055	-.012	.644	.141	.145	.517
* 25 銀行での預金や貸付業務	.043	.175	-.102	.000	.603	.236	.096	.473
65 法律に関する書類を作成する	.064	.146	.228	.015	.599	-.099	.169	.476
* 57 図書の目録を作ったり、書架を整理する	.213	-.038	.214	.037	.557	.041	-.048	.409
1 コンピューター情報処理システムの設計	-.033	.205	.046	.150	.522	-.136	.206	.402
17 コンピューターのプログラムを作る	.003	.195	.183	.237	.480	-.164	.210	.430
56 重役などの秘書業務	-.060	.429	.028	.052	.472	.155	-.134	.457
* 79 受け付けやカウンターで案内をする	.065	.267	-.054	.130	.271	.651	-.040	.596
* 40 デパートのエレベーターで店内案内をする	.139	.143	-.020	.160	.089	.629	.193	.508
* 16 万博や展示会会場での案内	.121	.296	.086	.201	.109	.580	-.000	.500
* 64 ホテルで宿泊客の応対をする	.076	.418	.021	.116	.098	.555	.100	.524
69 商品を陳列したり、販売する	.106	.053	.087	.387	.134	.467	.229	.461
* 13 レストランで注文をきいたり、配膳する	.204	.032	-.046	.170	-.006	.467	.302	.384
72 展示品を紹介する	.134	.199	.195	.341	.230	.441	.011	.461
80 スポーツを指導したり、コーチする	.232	.213	.117	.236	-.021	.266	.181	.274
* 45 車を点検したり、修理する	.105	.003	.124	.059	.094	.064	.723	.567
* 37 電気製品の修理や配線の仕事	.123	-.030	.161	.115	.131	.046	.682	.540
* 7 工場で機械を操作したり、製品をつくる	.181	-.010	.040	.071	.141	.091	.619	.452
* 21 自動車を販売する	.020	.089	.104	.092	.125	.312	.568	.464
* 29 得意先まわりや販売促進の仕事	.031	.116	.153	.085	.145	.402	.416	.403
61 保険を勧誘したり、集金する	.082	.097	-.001	.066	.328	.326	.392	.389
19 歯型の加工など、歯科技工の作業	.327	.067	-.083	.190	.294	-.066	.339	.361
分 散 (%)	8.806 (11.0)	6.883 (8.6)	6.484 (8.1)	6.345 (7.9)	5.846 (7.3)	4.516 (5.6)	3.259 (4.1)	42.138 (52.7)

表5 職務内容尺度の下位尺度間相関係数 (N=1753)

	マスコミ職 教育・福祉職	教育・ 福祉職	語学専門職	服飾・商業美術職	窓口・サービス職	事務的専門職	医療職・専門職	販売・現業職
マスコミ職	(.85)							
教育・福祉職	.22 ***	(.86)						
語学専門職	.38 ***	.15 ***	(.80)					
服飾・商業美術職	.43 ***	.11 **	.23 ***	(.88)				
窓口・サービス職	.21 ***	.27 ***	.42 ***	.31 ***	(.80)			
事務的専門職	.08 *	.22 ***	.25 ***	.08 *	.32 ***	(.80)		
医療職・専門職	.16 ***	.61 ***	.12 ***	.20 ***	.23 ***	.20 ***	(.83)	
販売・現業職	.24 ***	.21 ***	.20 ***	.27 ***	.36 ***	.30 ***	.30 ***	(.75)

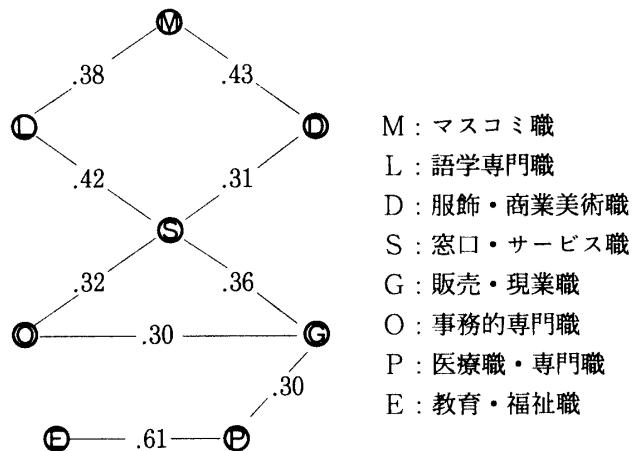
注) ( ) 内の数値は $\alpha$ 係数である

図3 職務内容尺度における下位尺度の関連図

うち、第1因子は教育・福祉職と医療職・専門職の2領域のそれぞれについて該当する項目の中から5項目を選び、他の6因子については各5項目を選び職務内容の下位尺度を構成した。項目選択の基準は先に述べた職業名の場合と同様である。表4の項目番号に\*印のついたものが今回の分析によって選択された項目である。

次に、表5は職務内容の下位尺度間相関と下位尺度の信頼性を示したものであるが、相関係数は職業名の場合と同じく全般に正の高い値を示しており、全ての組み合わせで有意な値となった。

下位尺度間相関のうち .30以上の強い関連のみられたものだけを取り出して図示したのが図3である。まず、教育・福祉職と医療職・専門職との相関係数は特に高い値であった。これはもともと1つの因子に含まれていたためである。次に、マスコミ職は服飾・商業美術職と語学専門職の双方に強く関連していることがわかる。また、語学専門職と窓口・サービス職の関連も強い。このこと

は、語学専門職の職務内容として今回選択された項目の多くが、語学をいかしたサービス業であったためであろうと思われる。以上の関連は職業名の場合とよく類似しているが、職業名では販売・現業職が多く下位尺度と関連していたのに対し、職務内容では窓口・サービス職が多く下位尺度と比較的強い関連を示した。

職務内容下位尺度の信頼性係数は、表5からわかるように、販売・現業職が .75 である他は .80 以上と十分高いものであった。

### 3) 職業名尺度と職務内容尺度の合成

まずははじめに、職業名尺度と職務内容尺度の関連を相互の下位尺度間で明らかにする。表6は、職業名尺度と職務内容尺度の各下位尺度間の相関係数である。対角要素は両尺度で互いに対応する下位尺度間の相関係数であり、.74から.87の高い値を示している。このことから、2つの尺度は同質の次元を備え、同様の内容を測定しうる尺度であるといえよう。そこでこの2つの尺度を合成し、8つの下位尺度からなり、各下位尺度が11項目からなる職業興味尺度を作成した。

この合成尺度に関して、下位尺度間相関および下位尺度の信頼性を示したのが表7である。相関係数は、事務的専門職とマスコミ職との組み合わせを除く全てにおいて有意な値を得た。

下位尺度間相関の中から .30 以上の場合のみを取り出して図示したのが図4である。この図から、8つの下位尺度をおよそ3つの結びつきに分けることができると思われる。1つは医療職・専門職と教育・福祉職の2領域からなる。人を育て世話ををするという伝統的な女性役割と一致しているという共通点をもつ。また資格が明確であり、専門性が高く、長期的な就労の可能な職業を多く含む点も共通している。2つ目の結びつきはマスコミ職、語学専門職、服飾・商業美術職の3領域からなる。女性

女子学生の職業興味と職業選択

表6 職業名尺度と職務内容尺度の下位尺度間相関係数 (N=1753)

職業名 職務内容	マスコ ミ職	教育・ 福祉職	語学 専門職	服飾・商 業美術職	窓口・ サービス職	事務的 専門職	医療職・ 専門職	販売・ 現業職
マスコミ職	.87	.23	.39	.44	.11	.04	.16	.26
教育・福祉職	.17	.87	.10	.07	.13	.19	.41	.15
語学専門職	.37	.14	.83	.26	.30	.25	.14	.19
服飾・商業美術職	.37	.09	.22	.87	.26	.08	.21	.30
窓口・サービス職	.19	.23	.31	.26	.82	.34	.17	.33
事務的専門職	.04	.21	.12	.04	.26	.81	.23	.28
医療職・専門職	.11	.51	.09	.17	.14	.21	.77	.27
販売・現業職	.23	.17	.12	.26	.29	.21	.26	.74

表7 合成尺度の下位尺度間相関係数 (N=1753)

	マスコ ミ職	教育・ 福祉職	語学 専門職	服飾・商 業美術職	窓口・ サービス職	事務的 専門職	医療職・ 専門職	販売・ 現業職
マスコミ職	(.92)							
教育・福祉職	.23 ***	(.92)						
語学専門職	.43 ***	.14 ***	(.89)					
服飾・商業美術職	.45 ***	.09 **	.28 ***	(.94)				
窓口・サービス職	.18 ***	.21 ***	.35 ***	.29 ***	(.87)			
事務的専門職	.05	.23 ***	.22 ***	.07 *	.35 ***	(.89)		
医療職・専門職	.17 ***	.52 ***	.15 ***	.28 ***	.19 ***	.27 ***	(.83)	
販売・現業職	.28 ***	.19 ***	.21 ***	.32 ***	.37 ***	.29 ***	.32 ***	(.84)

注) ( ) 内の数値は  $\alpha$  係数である

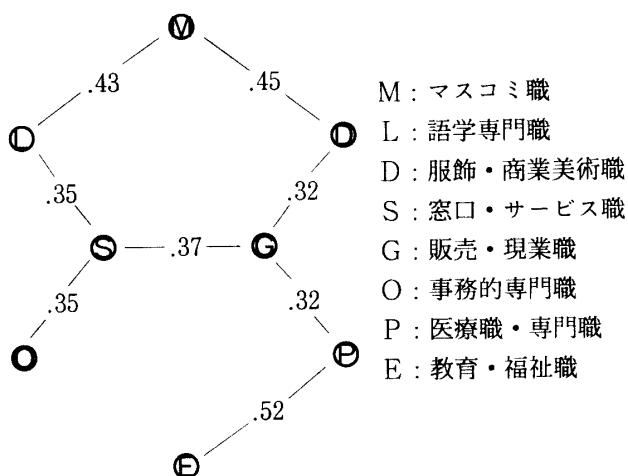


図4 合成尺度における下位尺度の関連図

が活躍する職業領域として比較的新しい分野であり、現代的ではなやかなイメージをいだかせる。この結びつきの要となっているマスコミ職は、国際的感覚や文学的素養を要求されることも多いという点で語学専門職に通ずるところがあると思われる。同時に、テレビ、ラジオ、雑誌といったマス・メディア関係の職業は、ファッション性が高いというイメージがあり、この点は服飾・商業美術職と共通していると思われる。3つ目の結びつきは、販売・現業職、窓口・サービス職、事務的専門職および語学専門職の4領域からなる。これらは語学専門職を除けば、専門性が低く、古くから若い女性むけの職業とみなされてきたものを多く含んでいる。

合成尺度の信頼性係数は、8つの下位尺度とも .83~.94 の間にあり、職業名尺度や職務内容尺度単独の場合よりも高く、十分満足できる値であった。

表 8 職業興味と職業志向の下位尺度間相関係数 (N=1753)

職業興味 職業志向	マスコ ミ職	教育・ 福祉職	語学 専門職	服飾・商 業美術職	窓口・ サービス職	事務的 専門職	医療職・ 専門職	販売・ 現業職
職務挑戦	.25 ***	.08 *	.17 ***	.13 ***	-.08 *	-.13 ***	.05	.07 *
人間関係	.06	.18 ***	.10 **	.01	.03	.01	.09 **	-.03
労働条件	-.01	-.11 **	.14 ***	.03	.12 ***	.12 ***	-.05	-.04

次に、職業興味と職業志向の各下位尺度間の相関係数をみてみよう。表8から以下のことがわかる。第1に、マスコミ職、語学専門職、服飾・商業美術職のいずれかの領域に興味の高い者は、職務挑戦志向が強い。このうち、マスコミ職と服飾・商業美術職とは職務挑戦だけに強い志向を示すが、語学専門職の場合は職務挑戦だけでなく労働条件や人間関係への志向も強い。第2に、教育・福祉職は人間関係志向と強く関連しており、労働条件とは負の関係を示している。医療職・専門職にも同様の傾向がみられる。第3に、窓口・サービス職や事務的専門職に興味の高い者は労働条件志向が強く、職務挑戦志向が低いことがわかる。

#### IV. 結果II—専攻別比較—

##### 1. 分析の目的

女子大学生がもっている職業興味は、大学や短大における所属学部・学科と一定の対応関係にあることが予想される。大学・短大における専門教育が将来の職業への準備教育である以上、専攻分野と対応した職業興味をもっていることが重要である。また将来の職業と職業興味との関係も重要な要素となる。ここでは、これらの要因相互の関係について詳しく検討していくことにする。具体的にはつぎの3つの観点から分析を行なう。①大学別や専攻分野別にみた職業興味の各下位尺度の特徴を明らかにしていく。②専攻分野別に将来につきたい職業の分布がどのようにになっているかを明らかにし、専攻ごとに代表的な希望職業を求める。そしてその代表例の示す職業興味尺度の平均値を下位尺度間で比較する。③特定の職業群に対して強い興味を示す傾向が専攻分野と一定の関係にあるかどうかをみてみる。そして、さらに職業興味が両親の学歴・職業といったデモグラフィック要因とどのような関係にあるかを検討する。

##### 2. 結果と考察

###### (1) 大学別および専攻分野別にみた全体の傾向

表9に大学別と専攻分野別に14の下位グループの平均

値を示した。グループ別の傾向をみるために、職業興味の下位尺度ごとに1要因分散分析を行った。その結果は表9に示した通りである。また、下位群間の平均値をt検定によって検討したところ、マスコミ職では、短大・人間が、短大・社会、看護専門学校、大学・家政、短大・教育保育よりも得点が高い ( $p < .05$ )。また同様に大学・国文が短大・社会、大学・家政、短大・教育保育よりも得点が高い ( $p < .05$ )。

教育・福祉職では、短大・教育保育の値が大学・教育保育を除くすべてのグループよりも高い ( $p < .05$ )。同様に大学・教育保育の得点は、短大・教育保育、看護専門学校、短大・人間を除くすべてのグループよりも高い ( $p < .05$ )。また看護専門学校の得点は、短大・教養、大学・英文、短大・英文、大学・図書館、短大・社会、短大・家政よりも高い ( $p < .05$ )。さらに大学・人間の値も短大・社会、短大・英文、大学・図書館よりも高く ( $p < .05$ )、大学・家政の値も大学・図書館よりも高い ( $p < .05$ )。まとめてみると、教育・福祉職については、教育保育、看護における得点がそのほかの専攻よりも高い傾向にある。

語学専門職では、大学・英文の値が短大・英文および短大・人間を除くすべてのグループよりも高く ( $p < .05$ )、同じように短大・英文の値も大学・英文、短大・人間を除くすべてのグループよりも高い ( $p < .05$ )。

服飾・商業美術職は、分散分析の結果は有意であったが、グループ間の差は明確ではない。

窓口・サービス職では、短大・家政、短大・英文、短大・社会の値が、大学・図書館よりも高い値を得ている ( $p < .05$ )。

事務的専門職では、短大・教養の値が、大学・教育保育、短大・英文、短大・教育保育、大学・英文、看護専門学校よりも高い ( $p < .05$ )。また短大・社会の値が大学・人間、大学・教育保育、大学・家政、短大・英文、大学・英文、短大・教育保育、看護専門学校の値よりも高い ( $p < .05$ )。さらに、大学・社会、短大・家政、大学・人間、大学・教育保育、大学・図書館の値は、それ

## 女子学生の職業興味と職業選択

**表9 専攻グループ別にみた職業興味尺度の尺度別平均値と分散分析の結果**

大学			専攻		N		職業興味		マスコミ職	教育・福祉職	語学専門職	服飾・商業美術職	窓口・サービス職	事務的専門職	医療職・専門職	販売・現業職
大 学	社会 家政	65	2.41	2.17	2.17	2.23	1.81	2.32	1.73	1.44						
		109	2.02	2.34	2.07	2.13	1.90	2.13	2.46	1.33						
	教育保育	186	2.30	2.85	2.25	2.18	1.84	2.17	2.03	1.33						
	英 文 人 間	99	2.24	2.05	2.88	1.96	1.84	2.03	1.60	1.26						
短 大	社会 家政	298	2.09	1.99	2.21	2.29	2.03	2.47	1.88	1.47						
	教育保育	155	2.10	2.07	2.19	2.40	2.05	2.27	1.78	1.39						
	英 文 人 間	94	1.95	3.26	1.99	1.94	1.84	2.09	2.00	1.23						
	124	2.21	1.94	2.86	1.98	2.04	2.09	1.59	1.26							
大学・国文			40	2.70	2.26	2.28	2.00	1.64	2.16	1.54	1.15					
大学・図書館			98	2.34	1.86	2.20	2.00	1.62	2.18	1.73	1.28					
短大・教養			101	2.09	2.14	2.27	2.05	1.99	2.53	1.83	1.33					
看護専門学校			128	2.06	2.60	2.06	2.19	1.76	1.79	2.84	1.30					
分 散 F 分 析 ～	1要因の結果		6.93 ***	37.42 ***	17.93 ***	4.08 ***	6.09 ***	12.90 ***	45.54 ***	5.69 ***						
要 因	2 主効果・大学	17.15 ***	40.45 ***	0.12	3.03	28.00 ***	16.34 ***	22.82 ***	4.93 *							
	主効果・専攻	10.43 **	95.29 ***	51.11 ***	7.59 ***	4.10 **	16.09 ***	25.46 ***	12.50 ***							
交 互 作 用			0.00	3.19 *	2.82 *	0.00	0.00	0.00	19.46 ***	0.30						

ぞれ看護専門学校よりも高い ( $P < .05$ )。全体としては、看護専門学校を除くほとんどのグループで値が高くなっている。

医療職・専門職では、事務的専門職と異なり看護専門学校の値がもっとも高く、他のグループの値との間に有意な差がみられた ( $P < .05$ )。また大学・家政の値も高く、看護専門学校を除くすべてのグループとの間に有意な差がみられた ( $P < .05$ )。さらに、大学・教育保育では、大学・英文、短大・英文、大学・国文の値よりも高く、短大・教育保育では、大学・英文、短大・英文の値よりも、そして短大・社会では短大・英文の値よりも高い ( $P < .05$ )。全体としては、看護専門学校での値が高く、大学・英文、短大・英文での値が低い。

販売・現業職では、短大・社会での値が短大・英文、短大・教育保育、大学・国文の値よりも相対的に高くなっているが ( $P < .05$ )、8つの職業興味下位尺度の中では、販売・現業職の値が最も低い。

このように、それぞれの職業興味は、大学における専攻分野にはほぼ対応しているといえるが、大学と短大とでは微妙に異なっている。

### (2) 大学別と専攻分野別にみた職業興味の特徴

専攻分野と職業興味との対応関係をくわしくみるために、2(大学別) × 5(専攻) の2要因分散分析を行った。なお、ここでとりあげた専攻分野は、大学・短大いずれにも含まれている分野に限られた。したがって、表9中の国文、教養、図書館、看護は分析から除かれた。

表9の下段の結果に示されたように、語学専門職と服飾・商業美術職を除く6つの職業群で大学別の主効果がみられた。そして、マスコミ職、教育・福祉職、医療職・専門職の3つの群では大学の値の方が高く、窓口・サービス職、事務的専門職、販売・現業職では、短大の方が高いことが明らかにされた。

専攻についての主効果は、全ての職業群においてみられた。

マスコミ職では人間関係グループが教育保育、社会、家政の3つのグループよりも値が高い。教育・福祉職では教育保育グループの値がほかの4つのグループよりも高い。また、人間関係グループの値が、社会および英文グループよりも高い。語学専門職では英文グループの値がほかの4つのグループの値よりも高い。服飾・商業美術職では家政グループと社会グループの値が英文グル

## 原著

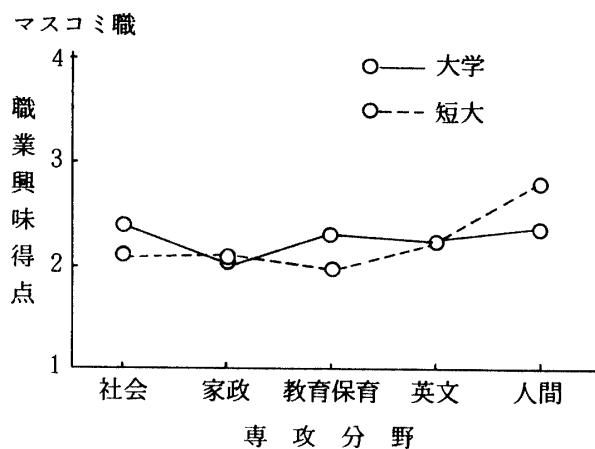


図5 大学別、専攻分野別にみたマスコミ職に対する職業興味得点

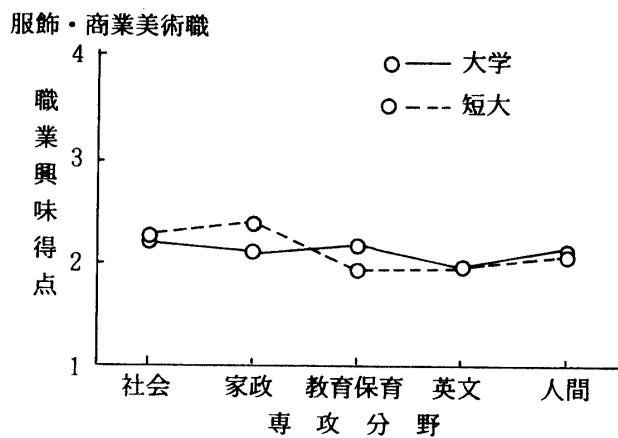


図7 大学別、専攻分野別にみた服飾・商業美術職に対する職業興味得点

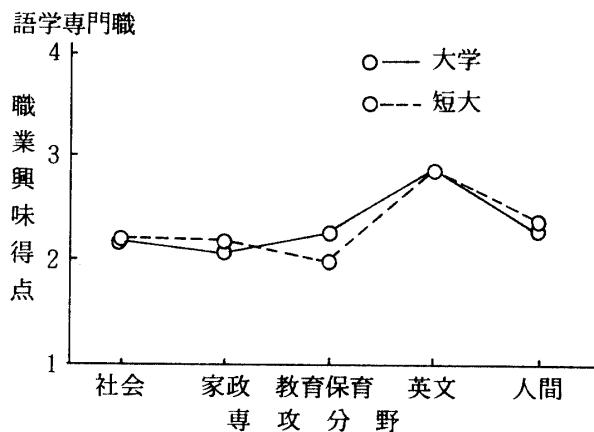


図6 大学別、専攻分野別にみた語学専門職に対する職業興味得点

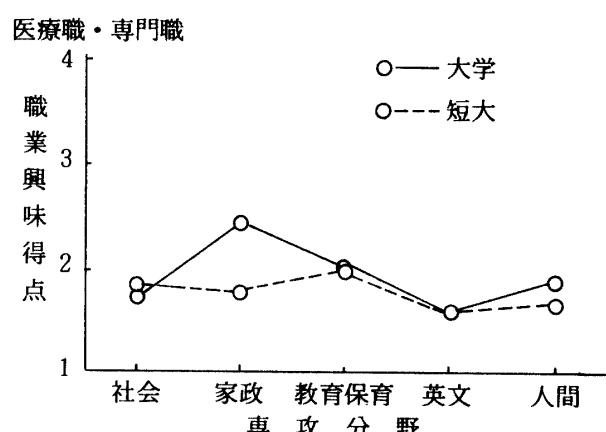


図8 大学別、専攻分野別にみた医療職・専門職に対する職業興味得点

よりも高い。事務的専門職と販売・現業職では社会グループの値が高い。医療職・専門職では家政グループと教育保育グループの値が人間関係グループ、社会グループ、英文グループよりも高い。さらに人間関係グループと社会グループの値は英文グループの値よりも高く英文グループの値がもっとも低い。

交互作用は、表から明らかなように、マスコミ職、語学専門職、服飾・商業美術職、医療職・専門職の4つのグループで認められた。マスコミ職については、図5から明らかなように、大学では家政グループが低いこと、短大では人間関係グループの値が高いことがわかる。また、教育保育グループは大学と短大とで大きな違いのあることもわかる。これは、教育保育グループに含まれる専門学科が大学と短大では異なることによるものと思われる。

語学専門職では、図6から英文グループの値がもっとも高いことがわかる。なお、教育保育グループでは、値

が大学と短大とで異なっており、大学の方が短大よりも高い。この結果についても、マスコミ職と同じような理由が考えられる。

服飾・商業美術職では、図7から明らかなように、家政グループの値が短大と大学とでは大きく異なっており、短大の値の方が高い。一方、教育保育グループでは、大学の値の方が短大の値よりも高くなっている。

医療職・専門職では、図8から明らかなように、家政グループにおいて、短大と大学の間に大きな違いがあり、大学の値の方がはるかに大きくなっている。

服飾・商業美術職と医療職・専門職の結果から、大学の家政グループがやや特異であるように思われる。その原因は、大学・家政グループでは服飾関係よりもむしろ栄養士コースなどに属する学生が多く、一方、短大・家政グループでは被服コースに属する学生が多いためであると思われる。同様にして、教育保育グループの中でも、大学は短大とは異なる専攻コースに属しているものと思

## 女子学生の職業興味と職業選択

われる。

### (3) 専攻分野別にみた希望職業と職業興味との関係について

本研究では、短大や大学を卒業したあとにどのような職業につくことを希望しているのかをたずねた。あげられた職業名を、本研究で得られた職業興味尺度の8つの下位尺度に可能な限りまとめることにした。なお、それらのカテゴリーにまとめることができなかった職業名がごく僅か存在したが、それらは未定のものと一緒に分類された。

希望職業の内訳を大学・短大の専攻分野別に見たものが表10である。

はじめに、未定・その他が占める割合を見てみよう。表から明らかなように、その割合は6.4%から50.0%にわたっている。そのうち、大学・国文、大学・英文、大

学・図書館、大学・人間関係ではそれぞれ30%を超えており、大学グループでの職業の希望が明確でないことが予想される。

希望職業が明確なグループの希望職業を専攻別にみていくことにしよう。大学の場合には、社会では事務的専門職、家政では医療職・専門職、教育保育では教育・福祉職を希望するものの割合が相対的に高くなっている。一方、英文、人間関係では、特定の職業群への集中はみられない。これらの専攻グループは、上であげた未定・その他の多いグループであることは注目に値する。このほか、国文ではマスコミ職が、図書館では事務的専門職が多くなっている。

短大の場合には、社会、家政、英文では事務的専門職が、教育保育では教育・福祉職が、そして人間関係ではマスコミ職が多くなっている。さらに、教養では事務的

表10 専攻グループ別にみた希望職業の内訳

大学	専攻	全 体	未定・その他	希望職種 内訳 希望 群全体	マスコ ミ 職	教育・ 福祉職	語 学 専門職	服飾・ 商業 美術職	窓口・ サービ ス 職	事務的 専門職	医療職・ 専門職	販売・ 現業職
大 学	社 会	65 (100.0)	13 ( 20.0)	52 ( 80.0)	8 ( 12.3)	3 ( 4.6)	1 ( 1.5)	2 ( 3.1)	7 ( 10.8)	27 ( 41.5)	2 ( 3.1)	2 ( 3.1)
	家 政	109 (100.0)	11 ( 10.1)	98 ( 89.9)	5 ( 4.6)	11 ( 10.1)	2 ( 1.8)	2 ( 1.8)	2 ( 1.8)	13 ( 11.9)	61 ( 56.0)	2 ( 1.8)
	教育保育	186 (100.0)	47 ( 25.3)	139 ( 74.7)	9 ( 4.8)	83 ( 44.6)	7 ( 3.8)	3 ( 1.6)	4 ( 2.2)	27 ( 14.5)	5 ( 2.7)	1 ( 0.5)
	英 文	99 (100.0)	31 ( 31.3)	68 ( 68.7)	14 ( 14.1)	2 ( 2.0)	8 ( 8.1)	2 ( 2.0)	18 ( 18.2)	18 ( 18.2)	1 ( 1.0)	5 ( 5.1)
	人 間	203 (100.0)	62 ( 30.5)	141 ( 69.5)	26 ( 12.8)	36 ( 17.7)	8 ( 3.9)	9 ( 4.4)	16 ( 7.9)	38 ( 18.7)	6 ( 3.0)	2 ( 1.0)
短 大	社 会	298 (100.0)	62 ( 20.8)	236 ( 79.2)	19 ( 6.4)	4 ( 1.3)	3 ( 1.0)	9 ( 3.0)	36 ( 12.1)	154 ( 51.7)	10 ( 3.4)	1 ( 0.3)
	家 政	155 (100.0)	38 ( 24.5)	117 ( 75.5)	3 ( 1.9)	4 ( 2.6)	2 ( 1.3)	23 ( 14.8)	21 ( 13.6)	58 ( 37.4)	4 ( 2.6)	2 ( 1.3)
	教育保育	94 (100.0)	6 ( 6.4)	88 ( 93.6)	0 ( 0.0)	79 ( 84.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	8 ( 8.5)	1 ( 1.1)	0 ( 0.0)
	英 文	124 (100.0)	23 ( 18.6)	68 ( 81.4)	7 ( 5.7)	5 ( 4.0)	16 ( 12.9)	1 ( 0.8)	29 ( 23.4)	39 ( 31.5)	3 ( 2.4)	1 ( 0.8)
	人 間	30 (100.0)	3 ( 10.0)	27 ( 90.0)	10 ( 33.3)	2 ( 6.7)	3 ( 10.0)	0 ( 0.0)	5 ( 16.7)	7 ( 23.3)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
大 学・ 専 門 学 校	大 学・国文	40 (100.0)	20 ( 50.0)	20 ( 50.0)	9 ( 22.5)	5 ( 12.5)	1 ( 2.5)	0 ( 0.0)	3 ( 7.5)	2 ( 5.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	大 学・図書館	98 (100.0)	30 ( 30.6)	68 ( 69.4)	13 ( 13.3)	4 ( 4.1)	5 ( 5.1)	1 ( 1.0)	7 ( 7.1)	35 ( 35.7)	1 ( 1.0)	2 ( 2.0)
	短 大・教 養	101 (100.0)	18 ( 17.8)	83 ( 82.2)	5 ( 5.0)	3 ( 3.0)	2 ( 2.0)	5 ( 5.0)	17 ( 16.8)	43 ( 42.6)	4 ( 4.0)	4 ( 4.0)
	看護専門学校	128 (100.0)	10 ( 7.8)	118 ( 92.2)	2 ( 1.6)	11 ( 8.6)	1 ( 0.8)	4 ( 3.1)	3 ( 2.3)	2 ( 1.6)	95 ( 74.2)	0 ( 0.0)

表11 希望職業グループ別にみた職業興味得点と分散分析の結果

希望職業グループ	N	職業興味尺度		マスコミ職	教育・福祉職	語学専門職	服飾・商業美術職	窓口・サービス職	事務的専門職	医療職・専門職	販売・現業職
		マスコミ職	教育・福祉職								
マスコミ職	132	3.14	2.00	2.34	2.39	1.75	1.94	1.70	1.32		
教育・福祉職	252	2.18	3.15	2.17	2.06	1.87	2.15	2.12	1.30		
語学専門職	63	2.38	1.92	2.99	1.99	1.79	1.91	1.64	1.26		
服飾・商業美術職	61	2.22	1.82	2.07	3.14	1.99	1.95	1.71	1.43		
窓口・サービス職	172	2.22	1.94	2.73	2.15	2.10	2.20	1.68	1.33		
事務的専門職	476	2.00	2.11	2.20	2.00	1.94	2.57	1.83	1.36		
医療職・専門職	193	1.97	2.52	2.04	2.08	1.78	1.96	2.70	1.31		
販売・現業職	23	2.29	2.29	2.33	2.25	2.00	2.09	1.84	1.60		
未定・その他	381	2.21	2.18	2.30	2.19	1.86	2.12	1.83	1.34		
1要因分散分析(F-値)		36.51 ***	72.00 ***	24.74 ***	18.04 ***	5.36 ***	35.54 ***	60.34 ***	3.08 **		

専門職が、看護専門学校では医療職・専門職が多い。

このように、全体としては事務的専門職を希望するものが多く、専攻分野との関係が明確なのは、医療職・専門職や教育・福祉職だけである。

つぎに、希望職業グループ間で職業興味のそれぞれの下位尺度の得点がどのように異なっているかを調べるために、それぞれの下位尺度について1要因分散分析を行った。それぞれの下位尺度平均値と分散分析の結果を示したもののが表11である。

表から明らかなように、いずれの下位尺度においても1要因分散分析の結果は有意であった。また、各下位尺度平均値の最大値は、それぞれの職業興味に対応する希望職業グループにおいて得られていることがわかる。そこで、それぞれの専攻分野グループにおいてもっとも希望職業の多かった職業群に属する学生の各職業興味尺度得点を比較してみるとしよう。その結果を示したもののが表12である。

表から明らかなように、検討された14のグループのうち英文専攻のもの以外は、それぞれ希望職業に対応する職業興味尺度での得点がほかの尺度の得点よりも高い。英文専攻の場合には、希望職業に対応した職業興味よりも語学専門職における得点の方が高くなっていた。

#### (4) 職業興味パターンと希望職業との関係について

職業興味の8つの下位尺度の個人得点の組合せによって、個人が相対的にどのような職業に対して強い興味をもっているかを明らかにすることができます。本研究では、それぞれの職業興味尺度において、 $m + \sigma$ 以上の値をとっている場合にその職業興味尺度に対して優位であるとした。そして、各個人内で優位な尺度が8つの尺度のうちいくつあるかということで、単一興味型、二興味型、三

興味型、多興味型に分類した。

また、いずれの尺度においても $m + \sigma$ 以上の値をとっていない場合を無興味型とした。なお、マスコミ職、教育・福祉職、語学専門職、服飾・商業美術職、窓口・サービス職、事務的専門職、医療職・専門職、販売・現業職のそれぞれの分割点( $m + \sigma$ )は、2.972, 3.070, 2.991, 2.934, 2.503, 2.842, 2.578, 1.718である。

表13には、希望職業グループ別に職業興味パターンの出現率を調べた結果を示した。

はじめに被調査者全体の結果にもとづいて、それぞれの興味型の出現率を見ておこう。表から明らかなように、単一興味型が32.3%, 二興味型が19.2%, 三興味型が10.2%, 多興味型が8.3%, 無興味型が29.9%であった。このように、全体の30%以上のものが単一職業領域に対してのみ特に強い興味を抱いていることがわかる。しかし一方では、無興味型も30%あり、女子大生の職業に対する興味は必ずしも焦点化されていないことがわかる。また、色々興味のあり過ぎる三興味型、多興味型も、合計で18.5%も存在している点も注目に値する。

希望職業グループ別に結果をみていくことにする。グループ別に職業興味タイプの内訳をみると、事務的専門職と未定・その他の2つのグループを除く7つのグループでは、単一興味型の割合が最も多くなっている。また、マスコミ職と服飾・商業美術職以外のグループでは二興味型の割合が無興味型よりも少なくなっている、各グループでの無興味型の占める割合が大きいことがわかる。つまり、マスコミ職を希望するグループと服飾・商業美術職を希望するグループとでは職業興味がかなり明確であるが、一方、事務的専門職を希望するグループと未定・その他のグループでは無興味型が相対的に多く、職業興

女子学生の職業興味と職業選択

表12 大学別・専攻分野別による下位グループにおける代表的希望職業グループの職業興味得点

大学別・専攻分野—希望職業群	職業興味得点 N	マスコ ミ 職	教育・ 福祉職	語 学 専門職	服飾・ 商業 美術職	窓口・ サービ ス職	事務的 専門職	医 職 門	療 専 職	販売・ 現業職
		被 調 査 者 全 体	1753	2.20	2.28	2.29	2.15	1.89	2.21	1.93
大学・社会—マスコミ職	8	3.39	2.35	2.22	2.57	1.89	2.06	1.99	1.74	
大学・英文—マスコミ職	14	3.03	1.83	2.97	2.18	1.58	1.65	1.49	1.20	
大学・人間—マスコミ職	26	3.25	2.10	2.22	2.38	1.81	2.03	1.85	1.36	
短大・人間—マスコミ職	10	3.40	2.41	2.39	2.52	1.73	1.91	1.68	1.36	
大学・国文—マスコミ職	9	3.33	2.09	2.01	2.35	1.55	1.86	1.56	1.11	
大学・図書館—マスコミ職	13	2.93	1.67	2.26	2.31	1.83	2.06	1.60	1.27	
大学・家政—教育・福祉職	11	2.17	3.07	2.10	2.24	2.01	2.42	2.63	1.37	
大学・教育保育—教育・福祉職	83	2.22	3.18	2.17	2.09	1.86	2.16	2.13	1.36	
大学・人間—教育・福祉職	36	2.44	3.05	2.31	2.01	1.83	2.15	2.09	1.32	
短大・教育保育—教育・福祉職	79	1.96	3.34	1.98	1.96	1.86	2.06	1.99	1.22	
大学・国文—教育・福祉職	5	2.35	2.24	2.02	2.07	1.51	2.38	1.64	1.07	
短大・英文—語学専門職	16	2.24	1.88	3.07	1.86	2.01	1.71	1.45	1.10	
短大・人間—語学専門職	3	2.42	2.06	2.88	1.55	1.33	2.09	1.52	1.12	
短大・家政—服飾・商業美術職	23	2.11	1.85	1.93	3.22	2.05	1.80	1.53	1.49	
大学・社会—窓口・サービス職	7	2.16	1.52	2.49	2.47	2.06	2.21	1.40	1.43	
大学・英文—窓口・サービス職	18	2.09	1.96	2.98	1.88	2.04	2.26	1.58	1.33	
短大・社会—窓口・サービス職	36	2.34	1.96	2.73	2.48	2.01	2.44	1.76	1.44	
短大・家政—窓口・サービス職	21	2.16	2.10	2.68	2.21	2.37	2.32	1.66	1.38	
短大・英文—窓口・サービス職	29	1.99	1.86	2.95	1.96	2.11	1.86	1.54	1.18	
短大・人間—窓口・サービス職	5	2.29	2.01	2.53	2.07	2.95	2.38	1.73	1.40	
短大・教養—窓口・サービス職	17	2.42	2.01	2.56	2.19	2.12	2.38	1.82	1.45	
大学・社会—事務的専門職	27	2.07	2.02	2.10	1.88	1.63	2.56	1.65	1.34	
大学・家政—事務的専門職	13	2.29	1.83	1.77	2.11	1.73	2.17	2.08	1.24	
大学・教育保育—事務的専門職	27	2.27	2.71	2.30	2.09	2.01	2.61	1.97	1.30	
大学・英文—事務的専門職	18	1.88	2.12	2.95	1.63	1.98	2.46	1.63	1.22	
大学・人間—事務的専門職	38	1.81	2.37	2.10	1.78	1.84	2.62	1.89	1.29	
短大・社会—事務的専門職	154	1.92	2.00	2.11	2.13	2.03	2.62	1.91	1.48	
短大・家政—事務的専門職	58	1.95	2.12	2.15	2.07	1.94	2.50	1.77	1.35	
短大・英文—事務的専門職	39	2.02	2.03	2.69	1.93	2.15	2.40	1.69	1.28	
短大・人間—事務的専門職	7	2.73	2.31	2.17	1.99	2.17	2.90	1.55	1.36	
大学・図書館—事務的専門職	35	2.22	2.01	2.14	1.99	1.56	2.34	1.80	1.32	
短大・教養—事務的専門職	43	1.90	2.13	2.02	2.00	2.01	2.86	1.80	1.32	
大学・家政—医療職・専門職	61	1.87	2.44	2.10	2.07	1.87	2.21	2.69	1.36	
看護専門学校—医療職・専門職	95	1.93	2.61	1.96	2.03	1.69	1.76	2.89	1.27	

## 原著

表13 希望職業グループ別にみた職業興味パターンの内訳

希望職業群 職業興味パターン		マスコミ職	教育・福祉職	語学専門職	服飾・商業美術職	窓口・サービス職	事務的専門職	医療専門職	販売・現業職	未定・その他	
		N									
被 調 査 者 全 体		1753 (100.0)	132 (100.0)	252 (100.0)	63 (100.0)	61 (100.0)	172 (100.0)	476 (100.0)	193 (100.0)	23 (100.0)	381 (100.0)
全 体		567 ( 32.3)	47 ( 35.6)	84 ( 33.3)	22 ( 34.9)	23 ( 37.7)	60 ( 34.9)	140 ( 29.4)	70 ( 36.3)	10 ( 43.5)	111 ( 29.1)
一 興 味 型	マスコミ職 優位型	57 ( 3.3)	33 ( 25.0)	2 ( 0.8)	2 ( 3.2)	1 ( 1.6)	4 ( 2.3)	6 ( 1.3)	2 ( 8.7)	7 ( 1.8)	
	教育・福祉職 優位型	92 ( 5.2)		56 ( 22.2)	2 ( 3.2)		2 ( 1.7)	9 ( 1.9)	5 ( 2.6)	1 ( 4.4)	
	語学専門職 優位型	83 ( 4.7)		6 ( 2.4)	16 ( 25.4)		22 ( 12.8)	15 ( 3.2)	1 ( 0.5)	2 ( 8.7)	
	服飾・商業美術職 優位型	58 ( 3.3)	4 ( 3.0)	3 ( 1.2)		17 ( 27.9)	5 ( 2.9)	10 ( 2.1)	4 ( 2.1)	15 ( 3.9)	
	窓口・サービス職 優位型	63 ( 3.6)	2 ( 1.5)	3 ( 1.2)		2 ( 3.3)	16 ( 9.3)	18 ( 3.8)	6 ( 3.1)	2 ( 8.7)	
	事務的専門職 優位型	70 ( 4.0)		4 ( 1.6)	2 ( 3.2)	1 ( 1.6)		52 ( 10.9)		11 ( 2.9)	
	医療職・専門職 優位型	69 ( 3.9)	2 ( 1.5)	6 ( 2.4)		1 ( 1.6)		3 ( 0.6)	48 ( 24.9)	1 ( 4.4)	
	販売・現業職 優位型	75 ( 4.3)	6 ( 4.6)	4 ( 1.6)		1 ( 1.6)	11 ( 6.4)	27 ( 5.7)	6 ( 3.1)	2 ( 8.7)	
全 体		336 ( 19.2)	28 ( 21.2)	52 ( 20.6)	9 ( 14.3)	21 ( 34.4)	35 ( 20.3)	76 ( 16.0)	47 ( 24.4)	2 ( 8.7)	66 ( 17.3)
二 興 味 型	マスコミ職 —教育・福祉職優位型	18 ( 1.0)	2 ( 1.5)	7 ( 2.8)				1 ( 0.2)	2 ( 1.0)		6 ( 1.6)
	マスコミ職 —語学専門職優位型	27 ( 1.5)	9 ( 6.8)	1 ( 0.4)	6 ( 9.5)	1 ( 1.6)	2 ( 1.2)	1 ( 0.2)		7 ( 1.8)	
	マスコミ職 —服飾・美術職優位型	21 ( 1.2)	8 ( 6.1)	1 ( 0.4)		5 ( 8.2)		1 ( 0.2)		6 ( 1.6)	
	マスコミ職 —サービス職優位型	5 ( 0.3)	2 ( 1.5)				1 ( 0.6)	1 ( 0.2)		1 ( 0.3)	
	マスコミ職 —事務的専門職優位型	8 ( 0.5)					1 ( 0.6)	7 ( 1.5)			
	マスコミ職 —医療職優位型	7 ( 0.4)	2 ( 1.5)	1 ( 0.4)				1 ( 0.2)	3 ( 1.6)		
	マスコミ職 —販売・現業職優位型	10 ( 0.6)	2 ( 1.5)				1 ( 0.6)	4 ( 0.8)		3 ( 0.8)	
	教育・福祉職優位型 —語学専門職優位型	3 ( 0.2)		1 ( 0.4)			1 ( 0.6)		1 ( 0.5)		
	教育・福祉職優位型 —服飾・美術職優位型	6 ( 0.3)		3 ( 1.2)		2 ( 3.3)			1 ( 0.5)		
	教育・福祉職優位型 —サービス職優位型	9 ( 0.5)		6 ( 2.4)			2 ( 1.2)			1 ( 0.3)	
	教育・福祉職優位型 —事務的専門職優位型	8 ( 0.5)		3 ( 1.2)				2 ( 0.4)		3 ( 0.8)	
	教育・福祉職優位型 —医療職優位型	35 ( 2.0)		15 ( 6.0)				3 ( 0.6)	13 ( 6.7)	4 ( 1.1)	
	教育・福祉職優位型 —販売・現業職優位型	11 ( 0.6)		6 ( 2.4)				2 ( 0.4)		3 ( 0.8)	
	語学専門職 優位型 —服飾・美術職優位型	16 ( 0.9)	3 ( 2.3)	1 ( 0.4)			7 ( 4.1)	1 ( 0.2)	1 ( 0.5)	3 ( 0.8)	
	語学専門職 優位型 —サービス職優位型	14 ( 0.8)		1 ( 0.4)			3 ( 1.7)	5 ( 1.1)	1 ( 0.5)	4 ( 1.1)	

女子学生の職業興味と職業選択

	語学専門職優位型 —事務的専門職優位型	11 ( 0.6)			1 ( 1.6)		3 ( 1.7)	5 ( 1.1)			2 ( 0.5)
	語学専門職優位型 —医療職優位型	8 ( 0.5)					1 ( 0.6)	2 ( 0.4)	4 ( 2.1)		1 ( 0.3)
	語学専門職優位型 —販売・現業職優位型	5 ( 0.3)					3 ( 1.7)				2 ( 0.5)
二	服飾・美術職優位型 —サービス職優位型	15 ( 0.9)				6 ( 9.8)	2 ( 1.2)	1 ( 0.2)	1 ( 0.5)		5 ( 1.3)
	服飾・美術職優位型 —事務的専門職優位型	6 ( 0.3)			1 ( 1.6)	1 ( 1.6)		4 ( 0.8)			
興	服飾・美術職優位型 —医療職優位型	9 ( .05)		2 ( 0.8)					5 ( 2.6)		2 ( 0.5)
	服飾・美術職優位型 —販売・現業職優位型	14 ( 0.8)		1 ( 0.4)		6 ( 9.8)	1 ( 0.6)	3 ( 0.6)		1 ( 4.4)	2 ( 0.5)
味	サービス職優位型 —事務的専門職優位型	12 ( 0.7)		2 ( 0.8)			2 ( 1.2)	7 ( 1.5)			1 ( 0.3)
	サービス職優位型 —医療職優位型	5 ( 0.3)							4 ( 2.1)		1 ( 0.3)
型	サービス職優位型 —販売・現業職優位型	19 ( 1.1)		1 ( 0.4)			3 ( 1.7)	8 ( 1.7)	1 ( 0.5)	1 ( 4.4)	5 ( 1.3)
	事務的専門職優位型 —医療職優位型	11 ( 0.6)						6 ( 1.3)	3 ( 1.6)		2 ( 0.5)
	事務的専門職優位型 —販売・現業職優位型	13 ( 0.7)					2 ( 1.2)	11 ( 2.3)			
	医療職優位型 —販売・現業職優位型	10 ( 0.6)			1 ( 1.6)				7 ( 3.6)		2 ( 0.5)
三	興味型	179 ( 10.2)	14 ( 10.6)	41 ( 16.3)	5 ( 7.9)	4 ( 6.6)	22 ( 12.8)	45 ( 9.5)	19 ( 9.8)	3 ( 13.0)	26 ( 6.8)
多	興味型	146 ( 8.3)	15 ( 11.4)	29 ( 11.5)	6 ( 9.5)	4 ( 6.6)	8 ( 4.7)	40 ( 8.4)	9 ( 4.7)	3 ( 13.0)	32 ( 8.4)
無	興味型	525 ( 29.9)	28 ( 21.2)	46 ( 18.3)	21 ( 33.3)	9 ( 14.8)	47 ( 27.3)	175 ( 36.8)	48 ( 24.9)	5 ( 21.7)	146 ( 38.3)

味の焦点化ができていないことを示している。

つぎに、それぞれの希望職業グループにおいて、どの興味型が優勢であるかをみていくことにする。

表から明らかなように、販売・現業職と未定・その他の2グループを除く全てのグループにおいて、最も大きな割合のタイプは単一興味型に出ていることがわかる。すなわち、マスコミ職希望グループではマスコミ職優位型が、教育・福祉職希望グループでは教育・福祉職優位型が、語学専門職希望グループでは語学専門職優位型が、服飾・商業美術職希望グループでは服飾・商業美術職優位型が最も割合が大きい。さらに、窓口・サービス職希望グループでは語学専門職優位型が、事務的専門職希望グループでは事務的専門職優位型が、医療職・専門職希望グループでは医療職・専門職優位型が最も割合が大きい。このように、窓口・サービス職希望グループ以外は希望職業と職業興味が一致しているといえる。なお、同様な傾向は、二興味型の場合においても見出され

ている。

#### (5) 職業興味パターンと専攻分野との関係について

ここでは、大学別・専攻分野別に職業興味パターンの出現率をみていくことにする。表14にその結果を示した。

大学別・専攻分野別に職業興味タイプの内訳をみると、ほとんどのグループでは、単一興味型の割合が最も多くなっている。とくに、短大・教育保育、短大・人間、看護専門学校では、単一興味型が無興味型よりも20~40%近くも多くなっている。しかし、大学・社会、大学・英文、短大・社会、短大・家政、大学・国文、大学・図書館の6グループでは単一興味型よりも無興味型の方が多く、ことに大学・図書館ではその差は30%もある。このように、短大の職業教育主体の専攻分野では職業興味が明確なものが多いのに対して、大学の文科系分野では職業興味が焦点化できず、無興味型が多くなっている。

つぎに、それぞれの大学別・専攻分野グループにおい

表14 大学別・専攻分野別にみた職業興味パターーンの内訳

職業興味パターーン		大学別・専攻分野		大学・社会		大学・家政		大学・教育保育		大学・英文		大学・人間		短大・社会		短大・家政		短大・教保		短大・英文		短大・人間		大学・国語		大学・文		大学・図書館		大学・教養		看護専門学校		不明																																																																																																																																																																																																																																															
被 調査者 全 体	N	1753 (100.0)	65 (100.0)	109 (100.0)	186 (100.0)	99 (100.0)	203 (100.0)	298 (100.0)	155 (100.0)	94 (100.0)	124 (100.0)	30 (100.0)	40 (100.0)	98 (100.0)	101 (100.0)	128 (100.0)	23 (100.0)	全 体	567 (32.3)	18 (27.7)	36 (33.0)	61 (32.8)	33 (33.3)	68 (33.5)	84 (28.2)	37 (23.9)	38 (40.4)	42 (33.9)	14 (46.7)	13 (32.5)	21 (21.4)	38 (37.6)	55 (43.0)	9 (39.1)	マスコミ職優位型	57 (3.3)	2 (3.1)	6 (5.5)	5 (2.7)	4 (4.0)	12 (5.9)	5 (1.7)	2 (1.3)	3 (1.9)	31 (33.0)	1 (0.8)	2 (6.7)	2 (6.7)	2 (5.0)	2 (5.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	教育・福祉職優位型	92 (5.2)	1 (0.9)	28 (15.1)	1 (1.1)	1 (6.4)	13 (6.4)	1 (0.3)	1 (0.3)	3 (1.9)	31 (33.0)	1 (0.8)	2 (6.7)	2 (6.7)	2 (5.0)	2 (5.0)	3 (3.0)	4 (3.1)	一 語学専門職優位型	83 (4.7)	3 (4.6)	2 (1.8)	3 (1.6)	19 (19.2)	8 (3.9)	6 (2.0)	6 (1.9)	3 (1.1)	20 (16.1)	1 (3.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	2 (5.0)	1 (5.0)	1 (0.8)	7 (30.4)	興 服飾・商業美術職優位型	58 (3.3)	3 (4.6)	3 (2.8)	7 (3.8)	8 (3.9)	11 (3.9)	13 (3.7)	1 (1.1)	1 (1.1)	3 (2.4)	1 (2.4)	3 (2.4)	1 (2.5)	2 (2.5)	2 (5.0)	5 (5.0)	1 (0.8)	意味 憲口・サービス職優位型	63 (3.6)	2 (3.1)	4 (6.4)	5 (2.7)	4 (4.0)	3 (1.5)	14 (4.7)	2 (4.5)	7 (4.5)	7 (5.7)	3 (5.7)	3 (10.0)	3 (10.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	3 (5.0)	1 (0.8)	型 事務的専門職優位型	70 (4.0)	2 (3.1)	5 (2.7)	1 (1.0)	7 (3.5)	24 (8.1)	4 (2.6)	2 (2.1)	2 (2.1)	5 (4.0)	5 (4.0)	5 (4.0)	2 (5.0)	2 (5.0)	12 (11.9)	1 (0.8)	1 (4.4)	医療職・専門職優位型	69 (3.9)	13 (11.9)	3 (1.6)	4 (2.0)	4 (2.0)	1 (0.3)	1 (0.3)	1 (0.6)	1 (0.6)	1 (0.6)	1 (0.6)	1 (0.6)	1 (2.5)	2 (2.5)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	42 (32.8)	販売・現業職優位型	75 (4.3)	6 (9.2)	4 (3.7)	5 (2.7)	4 (4.0)	13 (6.4)	22 (7.4)	4 (2.6)	1 (2.6)	4 (3.2)	2 (3.2)	2 (3.2)	1 (2.5)	1 (2.5)	5 (5.0)	4 (3.1)	6 (31.3)	全 体	336 (19.2)	15 (23.1)	24 (22.0)	34 (18.3)	17 (17.2)	28 (13.8)	57 (19.1)	29 (18.7)	22 (23.4)	21 (16.9)	7 (23.3)	7 (17.5)	7 (16.3)	16 (12.9)	13 (12.9)	40 (31.3)	6 (26.1)	興味 マスコミ職 —教育・福祉職優位型	18 (1.0)	1 (1.5)	3 (1.6)	4 (2.0)	4 (2.0)	2 (1.0)	2 (1.0)	2 (0.7)	2 (1.3)	5 (5.3)	1 (0.8)	1 (3.3)	1 (3.3)	1 (5.0)	1 (5.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (8.7)	—話学専門職優位型	27 (1.5)	1 (1.8)	3 (1.6)	5 (5.1)	5 (5.1)	2 (1.0)	2 (1.0)	2 (0.7)	2 (1.3)	4 (3.2)	1 (3.2)	1 (3.3)	1 (3.3)	2 (5.0)	2 (5.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	3 (8.7)	—服飾・美術職優位型	21 (1.2)	2 (3.8)	1 (0.5)	5 (2.5)	5 (2.5)	2 (0.7)	4 (2.6)	1 (2.6)	1 (2.6)	1 (3.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	1 (2.5)	1 (2.5)	1 (1.0)	1 (1.0)	3 (2.3)	—サービス職優位型	5 (0.3)	5 (0.3)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.3)	1 (0.3)	1 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (2.5)	1 (2.5)	1 (5.0)	1 (5.0)	6 (26.1)

女子学生の職業興味と職業選択

マスコミ職	8	(0.5)	1	(0.9)	1	(0.5)	1	(1.0)	2	(2.0)	4	(3.1)
—事務的専門職優位型												
マスコ職	7	(0.4)	1	(1.5)	2	(0.9)	1	(0.5)	2	(2.0)	2	(2.0)
—医療職優位型												
マスコ職	10	(0.6)	2	(3.1)	1	(1.8)	1	(0.5)	1	(0.7)	1	(1.6)
—販売・現業職優位型												
教育・福祉職優位型	3	(0.2)	1	(0.9)	1	(0.5)	1	(0.5)	1	(0.8)	2	(2.1)
—語学・専門職優位型												
教育・福祉職優位型	6	(0.3)	1	(0.9)	1	(0.5)	1	(0.5)	2	(1.6)	2	(2.1)
—教育・美術職優位型												
教育・福祉職優位型	9	(0.5)	1	(1.5)	2	(1.1)	1	(1.1)	1	(1.1)	1	(1.1)
—サービス職優位型												
教育・福祉職優位型	8	(0.5)	2	(3.1)	3	(2.8)	4	(2.2)	4	(2.2)	2	(2.1)
—事務的専門職優位型												
教育・福祉職優位型	35	(2.0)	2	(3.1)	3	(4.8)	9	(4.8)	2	(4.3)	4	(4.3)
—医療職優位型												
教育・福祉職優位型	11	(0.6)	4	(2.2)	4	(2.2)	1	(1.0)	4	(4.3)	1	(1.0)
—販売・現業職優位型												
語学専門職優位型	16	(0.6)	2	(1.1)	3	(3.0)	1	(0.5)	3	(1.0)	1	(0.7)
—服飾・美術職優位型												
語学専門職優位型	14	(0.8)	4	(4.0)	2	(1.0)	2	(1.0)	1	(0.3)	3	(2.4)
—サービス職優位型												
語学専門職優位型	11	(0.6)	2	(2.0)	2	(2.0)	2	(0.7)	2	(1.3)	3	(2.4)
—事務的専門職優位型												
語学専門職優位型	8	(0.5)	1	(0.9)	1	(0.5)	1	(0.5)	1	(0.3)	2	(2.5)
—医療職優位型												
語学専門職優位型	5	(0.3)	2	(1.0)	1	(1.5)	6	(1.0)	2	(2.0)	2	(2.3)
—販売・現業職優位型												
語学専門職優位型	15	(0.9)	2	(1.8)	1	(1.0)	6	(2.0)	6	(2.6)	4	(4.4)
—服飾・美術職優位型												
語学専門職優位型	6	(0.3)	6	(0.9)	1	(0.9)	1	(0.5)	3	(1.0)	1	(1.0)
—サービス職優位型												
服飾・美術職優位型	9	(0.5)	1	(0.9)	1	(0.9)	1	(0.5)	1	(0.7)	1	(1.1)
—医療職優位型												
服飾・美術職優位型	14	(0.8)	1	(0.5)	1	(0.5)	1	(0.5)	5	(1.7)	6	(3.9)
—販売・現業職優位型												

一 事務的専門職優位型		12 ( 0.7)	1 ( 0.9)	1 ( 0.5)	2 ( 1.0)	1 ( 3.4)	1 ( 0.7)	1 ( 1.1)	1 ( 0.7)	1 ( 3.3)	1 ( 1.0)	3 ( 3.0)
二 事務的専門職優位型		5 ( 0.3)	1 ( 0.9)	1 ( 0.9)	1 ( 0.5)	14 ( 0.5)	1 ( 0.5)	1 ( 0.7)	1 ( 0.7)	1 ( 1.0)	1 ( 1.0)	3 ( 2.3)
三 事務的専門職優位型		19 ( 1.1)	1 ( 1.5)	2 ( 1.8)	1 ( 1.5)	1 ( 1.5)	3 ( 0.5)	1 ( 1.0)	1 ( 0.7)	2 ( 1.6)	2 ( 1.0)	2 ( 2.0)
四 事務的専門職優位型		11 ( 0.6)	1 ( 1.5)	2 ( 1.8)	1 ( 0.6)	1 ( 1.5)	3 ( 0.5)	1 ( 1.0)	1 ( 0.7)	1 ( 1.6)	1 ( 1.0)	1 ( 1.0)
五 事務的専門職優位型		13 ( 0.7)	2 ( 3.1)	6 ( 5.5)	10 ( 0.6)	6 ( 5.5)	1 ( 0.5)	5 ( 1.7)	2 ( 1.3)	1 ( 3.3)	1 ( 1.0)	1 ( 1.0)
六 医療職優位型		6 ( 5.5)									3 ( 2.3)	1 ( 4.4)
七 医療職優位型		13 ( 11.9)	21 ( 11.3)	8 ( 8.1)	22 ( 10.8)	33 ( 11.1)	22 ( 14.2)	12 ( 12.8)	14 ( 11.3)	3 ( 7.5)	6 ( 3.1)	10 ( 7.8)
八 医療職優位型		7 ( 6.4)	7 ( 7.1)	7 ( 7.1)	28 ( 9.4)	19 ( 7.7)	9 ( 5.8)	6 ( 6.4)	11 ( 8.9)	2 ( 6.7)	7 ( 7.1)	7 ( 10.9)
九 医療職優位型		19 ( 26.6)	29 ( 34.3)	42 ( 32.5)	34 ( 32.5)	66 ( 33.9)	101 ( 37.4)	16 ( 29.0)	36 ( 17.0)	3 ( 10.0)	16 ( 40.4)	51 ( 52.0)
十 医療職優位型		525 ( 29.9)	566 ( 29.2)	525 ( 29.2)	525 ( 29.2)	566 ( 29.2)	525 ( 29.2)	525 ( 29.2)	566 ( 29.2)	3 ( 12.5)	33 ( 32.7)	16 ( 21.7)

脚注

表15 父親の学歴別にみた職業興味得点

父親の学歴	N	職業興味尺度												
		義務教育修了	高校卒	短大(高専)卒	大学卒	マスク職	ミスコ職	教育・福祉職	語学専門職	服飾・商業美術職	窓口・サービス職	事務的専門職	医職・専門職	療養職
義務教育修了	419	2.09	2.30	2.18	2.13	1.87	2.19	2.00	1.35					
高校卒	826	2.22	2.24	2.32	2.14	1.92	2.26	1.92	1.34					
短大(高専)卒	28	2.19	2.29	2.35	2.18	2.01	2.18	1.96	1.35					
大学卒	437	2.27	2.34	2.33	2.17	1.88	2.14	1.90	1.32					
1要因分散分析(F-値)	4.49**	1.66	4.48**	0.28	1.15	4.06**	2.05	0.29						

て、どの興味型が優勢であるかをみていくことにする。

表から明らかなように、全てのグループにおいて、最も大きな割合を占めているタイプは単一興味型に出現していることがわかる。すなわち、短大・人間と大学・国文ではマスコミ職優位型が、大学・教育保育と短大・教育保育では教育・福祉職優位型が、大学・英文と短大・英文では語学専門職優位型が、さらに、短大・人間関係では窓口・サービス職優位型が、短大・教養では事務的専門職優位型が、大学・家政と看護専門学校では医療職・専門職優位型が最も割合が大きい。なお、大学・社会、大学・人間関係、短大・社会、短大・家政、大学・図書館では特に優位な職業興味パターンはみられなかった。

つまり、専門的職業教育や語学教育を目的としている専攻分野では職業興味がかなり明確になっているが、社会、図書館などの専攻分野では職業興味が必ずしも明確ではないといえる。

#### (6) 家庭の要因と職業興味との関係について

さいごに、父親・母親の学歴や職業によって職業興味に違いがあるかをみておこう。

表15には、父親の学歴別にみた各下位尺度の職業興味得点と1要因分散分析の結果を示した。表から明らかなように、マスコミ職、語学専門職、事務的専門職の3つの下位尺度において有意なF値を得た（いずれも1%水準で有意）。

グループ間で平均値を比較したところ、マスコミ職と語学専門職においては、大学卒および高校卒と義務教育修了との間に差がみられた。いずれも大学卒および高校卒の方が義務教育修了よりも値が高く、マスコミ職、語学専門職に対する興味が強いことが示された。一方、事務的専門職においては、高校卒と大学卒との間に差がみられた。そして、高校卒の方が平均値の値が高く、事務的専門職に対する職業興味が強いことが示された。

表16には、父親の職業別にみた各下位尺度の職業興味得点と1要因分散分析の結果を示した。表から明らかなように、教育・福祉職、服飾・商業美術職、販売・現業職の3つの下位尺度において有意なF値を得た（いずれも5%水準で有意）。

グループ間で平均値を比較したところ、教育・福祉職においては、公務員と自営業との間に差がみられた。そして、公務員の方が値が高く、教育・福祉職に対する興味が強いことが示された。一方、販売・現業職においては、自営業と会社勤務との間に差がみられた。そして、自営業の方が平均値が高く、販売・現業職に対する職業興味が強いことが示された。なお、服飾・商業美術職については、平均値ではその他や自営業のグループが高くなっているが有意な結果を得ることはできなかった。

表17には、母親の学歴別にみた各下位尺度の職業興味得点と1要因分散分析の結果を示した。表から明らかな

表16 父親の職業別にみた職業興味得点

職業興味尺度 N		マスコ ミ 職	教育・ 福祉職	語 学 専門職	服飾・ 商 業 美術職	窓口・ サービ ス 職	事務的 専門職	医 職 門	療 専 職	販売・ 現業職
父親の職業										
公 務 員	191	2.25	2.45	2.26	2.19	1.92	2.31	1.98	1.32	
会 社 勤 務	976	2.20	2.28	2.31	2.10	1.87	2.22	1.92	1.32	
専 門 的 職 業	74	2.16	2.38	2.26	2.11	1.92	2.09	2.00	1.31	
自 営 業	420	2.20	2.22	2.27	2.24	1.94	2.19	1.94	1.39	
そ の 他	47	2.29	2.24	2.26	2.27	1.96	2.21	2.05	1.36	
1要因分散分析(F値)		0.43	3.15*	0.42	2.72*	1.27	1.99	0.99	2.71*	

表17 母親の学歴別にみた職業興味得点

職業興味尺度 N		マスコ ミ 職	教育・ 福祉職	語 学 専門職	服飾・ 商 業 美術職	窓口・ サービ ス 職	事務的 専門職	医 職 門	療 専 職	販売・ 現業職
母親の学歴										
義 務 教 育 修 了	471	2.13	2.31	2.24	2.12	1.89	2.18	1.99	1.32	
高 校 卒	953	2.22	2.24	2.30	2.14	1.90	2.24	1.91	1.34	
短 大 (高 専) 卒	218	2.28	2.36	2.32	2.16	1.90	2.16	1.94	1.34	
大 学 卒	75	2.24	2.36	2.28	2.30	1.86	2.10	1.89	1.30	
1要因分散分析(F値)		2.26	1.98	0.97	1.13	0.11	2.27	2.13	0.59	

## 女子学生の職業興味と職業選択

表18 母親の職業別にみた職業興味得点

母親の職業	N	職業興味尺度		マスコ ミ 職	教育・ 福祉職	語 学	服飾・ 商業 美術職	窓口・ サービ ス 職	事務的 専門職	医 職・ 療 専 門	販 売・ 現 業 職
		公 務 員	会 社 勤 務	専 門 的 職 業	自 営 業	そ の 他	パ ー ト	無 職			
公 務 員	55	2.33	2.40	2.37	2.30	1.87	2.15	1.89	1.33		
会 社 勤 務	235	2.18	2.31	2.28	2.14	1.85	2.25	1.98	1.32		
専 門 的 職 業	60	2.29	2.51	2.30	2.13	1.91	1.95	2.12	1.24		
自 営 業	275	2.22	2.22	2.28	2.25	1.95	2.28	1.92	1.42		
そ の 他	96	2.22	2.32	2.33	2.12	1.98	2.21	2.01	1.34		
パ ー ト	395	2.14	2.33	2.27	2.10	1.86	2.22	1.94	1.33		
無 職	604	2.22	2.24	2.29	2.12	1.89	2.19	1.89	1.32		
1要因分散分析(F-値)		0.89	2.03	0.23	1.48	1.21	2.52*	1.76	3.45**		

ように、いずれの下位尺度についても有意な結果を見出すことはできなかった。すなわち、女子大生の職業興味は母親の学歴の影響を受けにくいといえる。

表18には、母親の職業別にみた各下位尺度の職業興味得点と1要因分散分析の結果を示した。表から明らかのように、事務的専門職と販売・現業職において有意なF-値を得た（それぞれ5%水準と1%水準で有意）。

グループ間で平均値を比較したところ、事務的専門職においては、自営業と専門的職業との間に差がみられた。そして自営業の方が値が高く、事務的専門職に対する興味が強いことが示された。一方、販売・現業職においては、自営業と無職との間に差がみられた。そして自営業の方が平均値が高く、販売・現業職に対する職業興味が強いことが示された。

以上の結果から、父親に比べると母親の学歴や職業と女子大生の職業興味との間に明確な関係を見いだすことはむつかしいと思われるが、今後さらにとりあげる変数を吟味しつつ、女子大生の職業興味の規定要因についてくわしく検討を行なう必要があろう。

## V. 結果のまとめと考察

### 1. 結果の要約

本研究では、14の高等教育機関（大学・短大・専門学校）において9の専攻分野に属する1753名の女子学生を対象に、職業興味と希望の就職先などを中心にデータが収集された。分析の結果は以下の8点に要約される。

① 職業興味は80の職業名に対する興味の程度（4点尺度）と、同じく80項目の職務内容に対する興味の程度（4点尺度）の2側面から測定された。後者は前者の職業名を、代表的な職務内容に則して記述したものである点から、因子分析の結果は非常に高い類似性を示した。職業名では8因子、職務内容では7因子が抽出されたが、

職務内容の第1因子は、職業名の最初の2因子が結合した内容であった。そのため両測度は8因子構造として整理がなされ、職業名8尺度、職務内容8尺度の職業興味スケールが作成された。加えて、両尺度群間で相互に対応する8尺度は.74~.87と高い相関関係を示していたので（表6参照）、対応関係にある職業名尺度と職務内容尺度は合成され、単一の職業興味尺度として構成された。それらは、マスコミ職、教育・福祉職、語学専門職、服飾・商業美術職、窓口・サービス職、事務的専門職、医療職・専門職、販売・現業職の8つであり、各尺度は $\alpha=.83\sim.94$ という高い内部整合性を有していた。以上の結果は、刺激語として職業名を用いても職務内容を用いても、職業興味測度の因子構造は基本的に同一であり、職業名一職務内容を統合した合成尺度がより有効であることを示唆するものである。

② 職業生活を通じて何を求めるかという職業志向性と職業興味とは、ゆるいながらも有意な相関関係にあり、1) 仕事の上で重い責任や自己の可能性を求める職務挑戦志向性の高い女子学生は、マスコミ職、語学専門職などに高い興味（正の相関）を有し、逆に事務的専門職や窓口・サービス職には低い興味（負の相関）を有することが明らかとなった。2) これに対し、高い給与や福利厚生を求める労働条件志向性の高い女子学生は、事務的専門職や語学専門職に高い興味を持ち、逆に教育・福祉職には低い興味を有することが示された。3) 人間関係志向性は教育・福祉職に対する興味と有意な正の相関を示した。

③ 図4に示された通り、8つの職業興味尺度は相互に密接な関連を有し、そこから相互にオーバーラップする大きな3つの職業興味領域が形成されていることがわかる。第1は「語学専門職—マスコミ職—服飾・商業美術職」グループであり、感覚・情報産業の領域とでも名づ

女子学生の職業興味と職業選択

表19 希望職業と職業興味パターンの関係

被調査者全體	希望職業群		マスコ ミ職	教育・ 福祉職	話学 事門職	服飾・ 商業美術職	窓口・ サービス職	事務的 専門職	医療・專 職門	販売・ 現業職	未定・ その他
	N	(100.0)									
单一興味型	567 (32.3)	47 (35.6)	84 (33.3)	22 (34.9)	23 (37.7)	60 (34.9)	140 (29.4)	70 (36.3)	10 (43.5)	111 (29.1)	
二興味型	336 (19.2)	28 (21.2)	52 (20.6)	9 (14.3)	21 (34.4)	35 (20.3)	76 (16.0)	47 (24.4)	2 (8.7)	66 (17.3)	
三興味型	179 (10.2)	14 (10.6)	41 (16.3)	5 (7.9)	4 (6.6)	22 (12.8)	45 (9.5)	19 (9.8)	3 (13.0)	26 (13.0)	
多興味型	146 (8.3)	15 (11.4)	29 (11.5)	6 (9.5)	4 (6.6)	8 (4.7)	40 (8.4)	9 (4.7)	3 (13.0)	32 (13.0)	
無興味型	525 (29.9)	28 (21.2)	46 (18.3)	9 (33.3)	21 (14.8)	47 (27.3)	175 (36.8)	48 (24.9)	5 (21.7)	146 (38.3)	

表20 大学専攻と職業興味パターンの関係

被調査者全體	大学別・専攻		大学・ 社会	大学・ 家政	大学・ 教育保育	大学・ 英文	大学・ 人間	短大・ 社会	短大・ 家政	短大・ 教育保育	短大・ 英文	短大・ 人間	大学・ 文	大学・ 図書館	短大・ 教養	看護専 門学校	不明
	N	(100.0)															
单一興味型	567 (32.3)	18 (27.7)	61 (33.0)	33 (32.8)	68 (33.5)	84 (28.2)	37 (40.4)	38 (33.9)	14 (46.7)	13 (32.5)	21 (21.4)	38 (37.6)	55 (43.0)	9 (39.1)			
二興味型	336 (19.2)	15 (23.1)	24 (22.0)	34 (18.3)	17 (17.2)	28 (13.8)	57 (19.1)	29 (18.7)	21 (23.4)	7 (16.9)	7 (17.5)	16 (16.3)	13 (12.9)	40 (31.3)	6 (26.1)		
三興味型	179 (10.2)	6 (9.2)	13 (11.9)	21 (11.3)	8 (8.1)	22 (10.8)	33 (11.1)	22 (14.2)	12 (12.8)	4 (11.3)	3 (13.3)	3 (13.3)	3 (3.1)	6 (5.9)	10 (7.8)	2 (8.7)	
多興味型	146 (8.3)	7 (10.8)	7 (6.4)	28 (15.1)	7 (7.1)	19 (9.4)	23 (7.7)	9 (5.8)	6 (6.4)	6 (8.9)	1 (6.7)	1 (2.5)	7 (7.1)	11 (10.9)	7 (5.5)	1 (4.3)	
無興味型	525 (29.9)	19 (29.2)	29 (26.6)	42 (22.6)	34 (34.3)	66 (32.5)	101 (33.9)	58 (37.4)	16 (17.0)	36 (29.0)	3 (10.0)	16 (40.4)	51 (52.0)	33 (32.7)	16 (12.5)	5 (21.7)	

けることができよう。その核はマスコミ職である。第2は「事務的専門職—窓口・サービス職—販売・現業職—医療職・専門職」の系列であり、対人・対商品に関する職務を特徴としている。窓口・サービス職—販売・現業職を中心とし、この核が語学専門職と服飾・商業美術職を媒介として、第1の領域とオーバーラップしている。第3は、「教育・福祉職—医療職・専門職」の領域で、高度な公的資格職業群からなる。この領域は医療職・専門職を媒介として、第2の領域とオーバーラップしている。

④ 大学別・専攻別にみた女子学生の職業興味は、次の2つのタイプに分類できる。第1は専門教育型のタイプであり、英語・英文系学生（大学・短大とも）と語学専門職、教育保育系と教育・福祉職、看護系と医療職・専門職、家政（特に短大）系と服飾・商業美術職など、大学・短大での専門教育が、その延長線上にある職業への高い興味を生み出すタイプである。これに対し第2のタイプは、特定の専攻と関係の薄い職業群であり、すべての女子学生から相対的に高い（低い）興味を与えられている領域である。例えば、マスコミ職。逆に低い興味しか与えられていないものとして、販売・現業職と窓口・サービス職があげられる。しかし、上記はあくまでも相対的な関係であり、表9に示された通り各専攻の学生は、それなりにユニークな職業興味パターンを示している。

⑤ 女子学生の就職希望職種は、彼女たちの職業興味と強い関連を有していた。すなわち、卒業後の就職先としてマスコミ職を希望している者は、マスコミ職に対する高い職業興味を示していた。ただし、表11によると販売・現業職希望の女子学生だけは、販売・現業職ではなくマスコミ職や教育・福祉職に対する職業興味がもっとも高かった。このように、自分の就こうとしている職業の社会的威信が低い場合は、それに影響され職業興味も低下し、よその職業への興味が高まる事態が生ずる。しかし、希望職業とその職業に対する興味の対応関係は、あくまでも希望職業が決定している場合であって、どの職業についてよいかわからない状態では、特定の職業興味が突出することはない（表11参照）。本調査の結果によると、希望職種未定者がもっとも多いのは大学の国文（50.0%）、大学・英文（31.3%）、大学・人間関係（30.5%）、大学・図書館（30.6%）であり、もっとも少いのは短大・教育保育（6.4%）、看護専門学校（7.8%）であった。一般的に、4年制大学の人文系女子学生は、希望職業未定者が多く、職業興味も平板で特定化されない形となっている。

⑥ 表12より、各職業に対してもっとも高い興味得点を示した代表的グループは、以下の通りである。カッコ内

は職業興味得点を示す。

マスコミ職 = 4年制大学で社会科学系を専攻しマスコミを希望している者（3.39）、ないし短大で人間関係を専攻しマスコミを希望している者（3.40）。

教育・福祉職 = 短大で教育保育系を専攻し教育保育職を希望している者（3.34）。

語学専門職 = 短大で英語・英文学を専攻し語学専門職を希望している者（3.07）。

服飾・商業美術職 = 短大で家政系を専攻し服飾・商業美術職を希望している者（3.22）。

窓口・サービス職 = 短大・人間関係学専攻の学生で窓口・サービス職を志望する者（2.95）。

事務的専門職 = 短大・人間関係学専攻、ないし短大教養系の学生で事務的専門職を志望する者（それぞれ2.90、2.86）。

医療職・専門職 = 4年制大学の家政系で医療職・専門職および教育・福祉職を志望する者（それぞれ2.69、2.63）、ないし看護専門学校で医療職・専門職を志望する者（2.89）。

販売・現業職 = 特定グループを同定することができない。職業興味得点は1.07～1.74の範囲で非常に低い。

⑦ 職業興味パターンは、単一興味型、二興味型、三興味型、多興味型、無興味型の5類型から分析された。表19と表20は、それぞれ希望職種ごと、大学・専攻ごとに職業興味パターンを集計したものである。

まず、表19によると、どのような職種を希望する場合でも、その職種のみに平均以上の高い職業興味を示す「単一興味型」は、販売・現業職を除くとほぼ30%～35%の範囲で存在することがわかる。次は、当該職種と他のどれか1つの職種の2つに高い興味を示す「二興味型」であるが、この型は服飾・商業美術を志望する者の間に多く（34.4%）、語学専門職（14.3%）や事務的専門職（16.0%）の間で少ない。第3の「三興味型」はどの職種希望の場合も約10%以下と少ない。同様に4つ以上の職種に高い興味を示す「多興味型」も、ほぼ10%以下と考えてよい。問題はどの職種にも平均以下の興味しか持たない「無興味型」である。当然、希望職種未定グループで38.3%ともっとも高くなっているが、事務的専門職志望グループ（36.8%）や語学専門職を希望するグループ（33.3%）でも、同じくらいの高率となっている。これらのグループでは、一応希望職業は有していても、その職業に対して特に興味はないということになる。逆に、教育・福祉職や服飾・商業美術職では、それぞれ18.3%、14.8%と低い。全体でも約3割は無興味型であり、これといって高い興味が持てる職業をイメージできない女子学生が、3人に1人はいるということになる。

次に表20であるが、大学別・専攻別に職業興味のパターンをみると、「単一興味型」は短大・人間関係(46.7%)、看護専門学校(43.0%)、短大・教育保育(40.4%)で高く、大学・図書館(21.4%)、短大・家政(23.9%)で低いことがわかる。以上の結果は、学校での専門的職業教育のあり方と強く関連している。次に、「二興味型」の割合は、看護専門学校を除きどの大学・専攻でも15~20%とほぼ一定である。また、「三興味型」と「多興味型」はそれぞれ10%前後と少ない。最後に「無興味型」であるが、最も高い割合を示しているのは大学・図書館(52.0%)で、続いて大学・国文(40.4%)、短大・家政(37.4%)となっている。本研究の対象となった大学・図書館は新設学科で歴史も浅く、卒業生の進路もまだ安定していない。このような特殊事情が、卒業後の職業に対して、多数の学生が明確な方向づけを得られない原因の1つとなっている。

⑧ 女子学生の職業興味の規定要因としては、父親の学歴が重要である。父親が高学歴であるほど、本人のマスコミ職と語学専門職に対する興味が高まる傾向が見出された。ただし、事務的専門職に対する興味は、父親の学歴が高校卒のグループで最高であった。他の規定要因として父親の職業が調べられたが、父親の職業が公務員のグループで教育・福祉職への興味が高く、自営業・その他のグループで服飾・商業美術職と販売現業職に対する興味が高まる傾向が見出された。しかし、母親の学歴、母親の職業については、何ら一貫した有意な結果は得られなかった。

## 2. 考察と展望

① まず職業興味の次元であるが、前回までの研究(若林ほか、1986, 1988)と同様、今回も8因子を得た。しかし今後、女性の職業領域が広がり、女子の大学・短大・専門学校での専攻分野も多様化していくことを考えると、今まで通りの職業各リストとサンプル構成で十分かは慎重に検討されねばならない。

② 今回の研究では、女子学生の職業興味の規定要因について十分検討することができなかった。図1に照して考えると、青年期までの職業的社会化経験、特に性役割社会化経験や中学・高校での学校生活経験と、現在の職業興味との関連が解明される必要がある。加えて、女子学生個人のパーソナリティ要因や、価値観・態度と職業興味との関係も明らかにする必要があろう。

③ 上記のような、「女子学生の職業興味はどのような要因によって規定されるか」という、従属変数としての職業興味の研究に加え、「職業興味は女子学生の職業行動をどのように規定するか」という、独立変数としての

職業興味の研究も進めなければならない。この場合、職業興味や興味パターンによって説明される女子学生の職業行動として、求職行動・就職決定・職業志向性・キャリア動機づけ・キャリア展望など、職業人としての女性の生き方に関する諸側面が考えられる。また、以上のような職業興味に関する予測的研究は、女子学生のみならず高校生をも対象に、進路選択過程の研究(若林、1988)の一貫として進められる必要がある。

## 引用文献

- 後藤宗理・若林 満 1988 保育科短大生における職業選択過程の研究——就職決定群と未決定群の比較を中心に—— 名古屋市立保育短期大学研究紀要, 27, 1~14.
- Holland, J. L. A. 1973 Making vocational choices. Englewood Cliffs, N. J.: Prentice-Hall, Inc.
- 森下高治 1983 職業行動の心理学 ナカニシヤ出版
- 鹿内啓子・後藤宗理・若林 満 1982 女子大生の社会的・職業的役割意識の形成過程に関する研究——性役割タイプと自己能力評価を中心として—— 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科), 29, 101~136.
- 鹿内啓子・後藤宗理・若林 満 1986 女子短大生の就職決定・未決定に対する原因帰属——自己概念の影響について—— 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科), 33, 213~227.
- 鹿内啓子・後藤宗理・若林 満 1987 女子短大生の就職決定・未決定に対する原因帰属(2)——Self-esteem および自己概念との関係—— 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科), 34, 55~68.
- 若林 満 1988 青年期の進路選択 久世敏雄(編) 教育の心理(第11章) 名古屋大学出版会
- 若林 満・後藤宗理 1988 女子大学生の職業興味に関する研究 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科), 35, 189~200.
- 若林 満・後藤宗理・鹿内啓子 1983 職業レディネスと職業選択の構造——保育系、看護系、人文系短大生における自己概念と職業意識との関連—— 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科), 30, 63~98.
- 若林 満・後藤宗理・鹿内啓子 1984 女子大生における職業選択過程の予測的研究(I)——職業決定群と未決定群の比較のもとに—— 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科), 31, 123~161.
- 若林 満・後藤宗理・鹿内啓子 1985 女子大生における

原 著

る職業選択過程の予測的研究（II）名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科），32，287-310.  
若林 満・後藤宗理・鹿内啓子 1986 女子短大生における性役割社会化と職業興味 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科），33，173-212.

若林 満・鹿内啓子・後藤宗理 1981 女性の社会的役割態度と職業自己イメージ——尺度の構成と比較分析—— 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科），28，71-98.

(1989年7月31日 受稿)

女子学生の職業興味と職業選択

付表1 職業名項目の平均と標準偏差 (N = 1753)

項目	M	SD	項目	M	SD
1 民間企業事務	2.36	0.92	41 小学校教員	2.17	1.09
2 インテリアデザイナー	2.38	0.97	42 ショールームガール	1.81	0.89
3 医 師	1.99	0.96	43 銀行員	2.16	0.97
4 同時通訳	2.46	1.01	44 カメラマン	1.94	0.97
5 デパートの売り場係	1.65	0.78	45 栄養士	2.07	1.00
6 新聞記者	2.23	1.02	46 國際電話交換手	2.10	1.00
7 保 母	2.35	1.08	47 営業部員	1.66	0.79
8 受付・案内係	2.37	0.96	48 ディスクジョッキー	2.05	1.04
9 司法書士	1.91	0.89	49 カウンセラー	2.25	1.03
10 美容師	1.67	0.84	50 電話交換手	1.90	0.93
11 看護婦	2.02	1.02	51 プログラマー	2.01	0.95
12 翻訳家	2.20	1.04	52 商業デザイナー	1.85	0.95
13 保険の外交員	1.36	0.62	53 歯科技工士	1.62	0.82
14 編集者	2.32	1.07	54 海外旅行添乗員	2.60	1.08
15 幼稚園教員	2.25	1.11	55 ウェートレス	1.52	0.73
16 ホテルのフロント係	1.96	0.95	56 プロデューサー	2.16	1.0
17 図書館司書	2.26	1.02	57 ケースワーカー	1.84	0.95
18 服飾デザイナー	2.12	0.99	58 グランドホステス	1.75	1.00
19 秘 書	2.86	0.91	59 ニュースキャスター	2.35	1.03
20 中学・高校教員	2.24	1.02	60 自動車セールス	1.27	0.52
21 作 家	2.01	1.02	61 日本語教師	2.18	1.08
22 自動車整備士	1.23	0.54	62 理学療法士	1.65	0.90
23 国際線スチワーデス	2.34	1.06	63 ハウスマヌカン	1.63	0.86
24 大学教員	1.80	0.93	64 会計士	1.74	0.88
25 画 家	1.73	0.96	65 催事コンパニオン	2.01	0.97
26 公務員事務職	2.42	1.05	66 養護学校の教員	2.01	1.01
27 ツアーコンダクター	2.65	1.03	67 シナリオライター	1.91	0.98
28 児童福祉施設職員	2.25	1.04	68 生産工程技能士	1.28	0.55
29 評論家	1.60	0.83	69 銀行の海外業務担当者	1.91	1.00
30 電気修理技師	1.23	0.52	70 婦人警察官	1.94	0.98
30 通訳ガイド	2.32	1.07	71 イラストレーター	1.89	1.02
32 臨床検査技師	1.84	1.00	72 医療保険事務	1.96	0.96
33 スタイリスト	2.19	1.0	73 システムエンジニア	1.53	0.78
34 税理士	1.77	0.91	74 インテリアコーディネーター	2.29	1.08
35 エレベーターガール	1.46	0.72	75 保健婦	1.84	1.98
36 ホームヘルパー	1.60	0.81	76 外資系企業の秘書	2.45	1.07
37 薬剤師	2.29	0.99	77 俳 優	2.12	0.98
38 英文タイピスト	2.29	0.98	78 学習塾の教師	2.01	1.03
39 商品仕入れ係(バイヤー)	1.65	0.83	79 観光ガイド	2.19	1.02
40 アナウンサー	2.48	1.06	80 スポーツのインストラクター	2.00	1.03

## 原 著

付表2. 職務内容項目の平均と標準偏差 (N = 1753)

項目	M	SD	項目	M	SD
1 コンピューターによる情報システムの設計。	2.37	0.98	40 デパートのエレベーターで店内案内や接客をする。	1.62	0.82
2 家具や調度品の組み合わせなどをアドバイスする。	2.42	0.98	41 商店や会社の税金に関する書類を作成したり、税務上の相談に応じる。	1.76	0.88
3 健康診断や保健指導をする。	2.42	0.93	42 ブティックなどで服をディスプレーする。	2.03	1.01
4 外国人管理職の秘書業務。	2.42	1.02	43 血液や尿などの検査作業。	1.67	0.90
5 映画や演劇、テレビドラマなどに出演する。	2.24	1.05	44 海外からの旅行客を観光案内する。	2.33	1.07
6 塾などで学習を指導する。	2.12	0.97	45 車を点検したり、修理する。	1.26	0.58
7 工場で機械を操作したり、製品をつくる。	1.33	0.61	46 社会事象について評論を書く。	1.58	0.83
8 観光地で名所、旧跡などを案内する。	2.14	0.99	47 施設の子どもたちの世話をする。	2.31	1.05
9 健康保険などに関する書類の作成。	1.83	0.88	48 旅行社で旅行を企画し、実施する。	2.44	1.06
10 広告のための絵や文字をデザインする。	2.16	1.05	49 市役所・区役所などの事務処理。	2.21	1.02
11 非行や交通違反のとりしまり。	1.71	0.87	50 芸術的な絵を描く。	1.89	1.04
12 海外取り引きや金融の仕事。	2.15	1.01	51 専門分野の研究をしたり、専門的知識を教える。	2.17	1.02
13 レストランで注文をきいたり、配膳する。	1.54	0.78	52 國際線の機内で旅客を接待する。	2.22	1.05
14 映画やテレビ番組の制作。	2.41	1.08	53 商品を仕入れたり、買い付ける。	1.82	0.86
15 病人の社会復帰などを援助する。	2.16	0.97	54 文学作品を書く。	1.87	0.97
16 万博や展示会会場での案内。	2.23	0.98	55 中学・高校で専門の教科を教える。	2.12	1.06
17 コンピュータのプログラムを作る。	2.09	1.02	56 重役などの秘書業務。	2.62	1.02
18 商品の色や形をデザインする。	2.24	1.05	57 図書の目録を作ったり、書架を整理する。	2.16	1.00
19 歯型の加工など、歯科技工の作業。	1.60	0.83	58 洋服をデザインしたり、仕立てる。	2.03	1.00
20 海外旅行に同行し、旅行客の世話をす	2.40	1.06	59 薬を調合する。	2.14	1.02
る。			60 英語の文書をタイプする。	2.34	1.03
21 自動車を販売する。	1.34	0.61	61 保険を勧誘したり、集金する。	1.32	0.58
22 演劇や映画などの脚本を書く。	1.97	1.00	62 ラジオ、テレビ番組で、ニュースを読んだり、司会をする。	2.23	1.08
23 障害児の教育。	2.10	1.01	63 小学校で教える。	2.18	1.10
24 空港内で、搭乗客に応対する。	2.24	1.03	64 ホテルで宿泊客の応待をする。	1.97	0.93
25 銀行での預金や貸付業務。	2.00	0.93	65 法律に関する書類を作成する。	1.73	0.85
26 商業写真をとる。	1.91	0.76	66 ヘヤーカットやメイクアップの仕事。	1.99	1.00
27 給食の献立を作ったり、栄養指導	2.00	0.98	67 病人を看護する。	2.02	0.96
28 電話局で国際電話を取り次ぐ。	2.18	0.99	68 外國の小説や文献などを日本語に訳す。	2.18	1.03
29 得意先まわりや販売促進の仕事。	1.50	0.72	69 商品を陳列したり、販売する。	1.75	0.82
30 ラジオやレコード音楽を紹介しながら話をする。	2.19	1.07	70 雑誌や本を企画し、編集する。	2.38	1.07
31 憂みごとの相談に応じたり、指導する。	2.30	1.01	71 小さい子どもの世話をしたり、教育を行なう。	2.48	1.09
32 交換台で外線電話を取り次ぐ。	1.98	0.95	72 展示品を紹介する。	1.96	0.87
33 商店や会社の会計書類を作成したり、会計上の相談に応じる。	1.83	0.88	73 民間企業での事務処理や書類の作成。	2.12	0.97
34 店でCDブランド服を紹介する。	1.78	0.88	74 家具や照明器具のデザインや室内装飾。	2.28	1.06
35 リハビリテーションの指導。	2.05	0.97	75 病人を治療したり、手術をする。	1.73	0.92
36 外国人に日本語を教える。	2.36	1.07	76 国際会議で演説などを即座に通訳する。	2.01	1.02
37 電気製品の修理や配線の仕事。	1.31	0.63	77 事件を取材したり、報道記事を書く。	2.10	1.04
38 テレビのニュース番組を担当する。	2.21	1.07	78 乳幼児の世話をする。	2.35	1.10
39 老人や病人の身の回りの世話をする。	1.99	0.93	79 受け付けやカウンターで案内をする。	2.28	0.98
			80 スポーツを指導したり、コーチする。	1.93	1.01

## ABSTRACT

### Vocational Interests and Vocational Choices

#### Among Female College Students

Mitsuru WAKABAYASHI, Motomichi GOTO and Hisako MUNEKATA

The present study has two purposes. One is to develop the vocational interests scale for female students, and another is to explore the relationship between vocational interests and vocational choices.

Subjects consisted of 1753 female college and university students majoring in 9 different fields with respect to vocational specialization in 14 different higher educational institutions.

Subjects were asked to respond to the questionnaire which consisted of following three parts.

- (1) Biographical data include information on subject's grade and major field, future occupation preference, parents' educational levels, parents' occupations.
- (2) Vocational interests were measured by using 80 job titles and 80 items which explain the contents of job titles. We selected 10 titles for each of 8 occupational categories that had been identified in previous studies (Wakabayashi et al., 1986, 1988). To use job content items is an unique trial for this study. Subjects were asked to rate each one by using a 4-point scale.
- (3) A job orientation instrument represented 15 items which subject might want to have as important goals or conditions for their future occupations. This instrument consisted of 3 subscales named as job challenge, human relations, and working conditions respectively. Subjects were asked to rate each one by using a 5-point scales.

Major findings are summarized as follows.

- (1) The factor analyses were conducted for 80 job-title and 80 job-content items independently. Since factor structure of these two scales matched very well, two scales were combined. As a result, the combined scale had 8 subscales: (1) mass media and journalism, (2) education and welfare, (3) foreign language specialist, (4) dressmaking and industrial art design, (5) receptionists and customer service, (6) clerical specialists, (7) medical specialists and professionals, (8)sales and production. Each subscale has 6 job-title items and 5 job-content items. A Cronbach  $\alpha$  of each subscale was sufficiently high, then the combined vocational interests scale could maintain satisfactory reliability.
- (2) For the purpose of examining relationship between vocational interests and job orientation, correlation coefficients were calculated. Job challenge orientation tended to relate positively with mass media and journalism, and foreign language, and negatively relate with clerical specialists, and receptionists and customer service. Human relation orientation especially related with education and welfare field positively. Work conditions positively related with foreign language specialists, clerical specialists, and receptionists and customer service, and negatively related with education and welfare.
- (3) Students seemed to be classified into two groups by their vocational interests. One is those studying special knowledge or skills and being interested in specialized occupations such as foreign language specialists, medical specialists, and teacher. The other is those students whose vocational interests is not bound to their school major.
- (4) Vocational aspiration affected vocational interests among female students. If student can image her future occupation concretely, her vocational interests tend to follow such future occupation. Howev-

er, if no concrete occupational identification is mentioned, their vocational interest profile become flat and unarticulated.

- (5) Students were classified 5 vocational interests patterns: (1) a single interest type, (2) a double interest type, (3) a triple interest type, (4) a multiple interest type, and (5) a non interest type. Major fields of student and vocational aspiration related to these patterns. Subjects from human-relations and education majors in junior college and hospital nurse tended to show single interest, but those from librarian and home economics majors in junior college tended to show non interest field.
- (6) Educational level of father affected vocational interests of daughter. The higher his educational level, the greater her interests in mass media and journalism field, and foreign language specialist field. Father's occupation also affected daughter's vocational interests in some degree.